

第1回 横浜市市立病院あり方検討委員会

平成14年8月27日(火)午後2時45分～
市庁舎 2階 第一特別会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 当局幹部職員紹介
- 4 横浜市市立病院あり方検討委員会設置要綱について
- 5 市長あいさつ
- 6 議 事
 - (1) 座長の選出
 - (2) 諮 問
 - (3) 検討の進め方等について
 - (4) 基礎資料説明
 - (5) 意見交換
 - (6) そ の 他
- 7 閉 会

次回開催：9月30日(月)午後1時～
横浜市庁舎5階 特別会議室

横浜市市立病院あり方検討委員会（第1回）

基礎資料

目次

		ページ
資料 1	横浜市の医療提供体制	1-1
	（1）医療施設数（実数・人口10万対）	1-1
	（2）病床の種類別にみた病床数（実数・人口10万対）	1-1
	（3）市内の主な病院	1-2
資料 2	市内一般病床に占める市立病院等の一般病床数	2-1
資料 3	13大都市市内一般病床に占める市立病院等の一般病床数	3-1
資料 4	市立病院等の概要	4-1
	〔市立病院（3）、市立大学病院（2）、地域中核病院（4）〕	
資料 5	横浜市立港湾病院再整備の概要	5-1
資料 6	神奈川県保健医療計画〔関係部分抜粋〕	6-1
資料 7	市立病院の果たしてきた役割	7-1
資料 8	市立病院の経営の現状について	8-1
資料 9	市立病院経営状況統計資料	9-1
資料 10	市立病院のこれまでの経営改善の取組	10-1
資料 11	横浜市の財政状況について	11-1
参 考	用 語 集	参考-1

横浜市の医療提供体制

(1) 医療施設数 (実数・人口10万対)

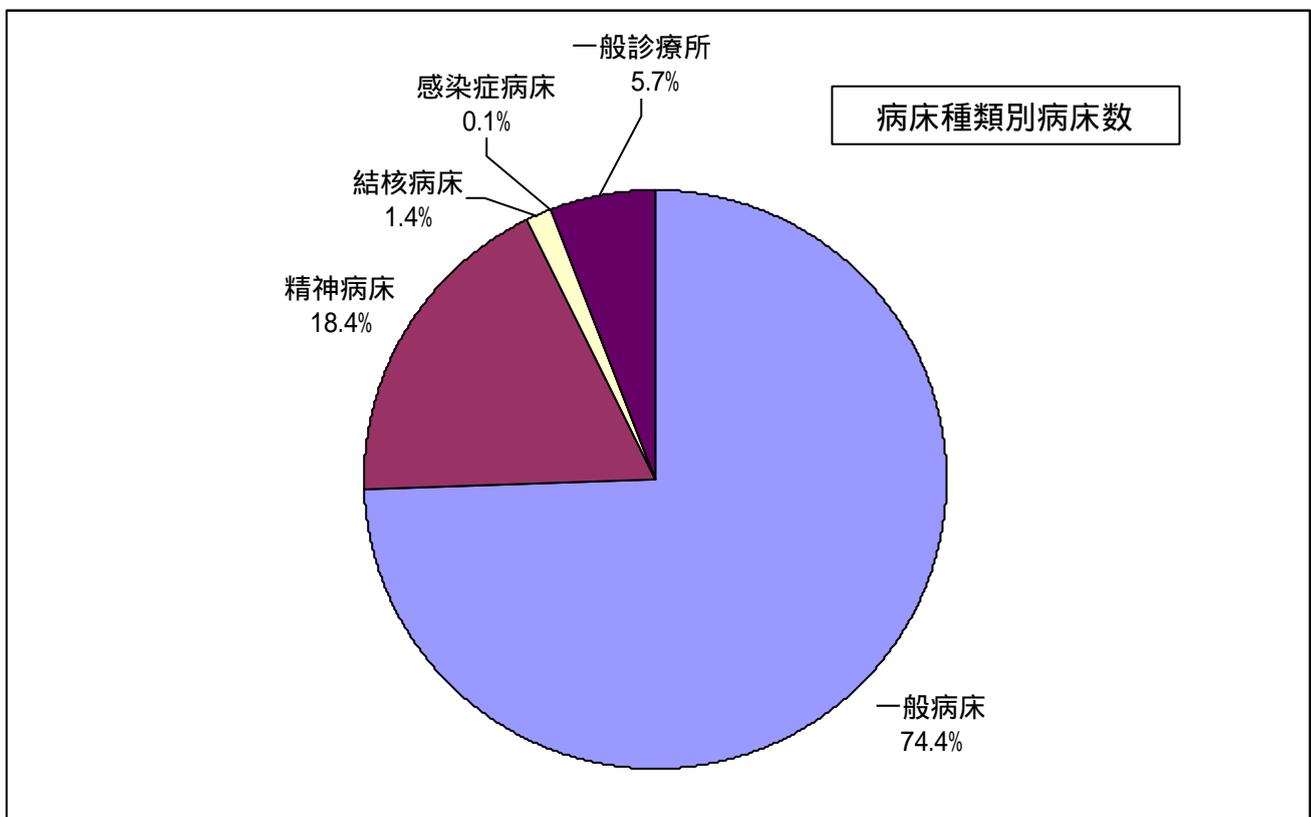
平成14年4月1日現在

	病 院						一 般 診 療 所						歯科診療所	
	総 数		一 般		精 神	結 核	総 数		有 床		無 床		施 設 数	10万対
	10万対		10万対				10万対		10万対		10万対			
医療施設数	142	4.1	123	3.5	19	0	2,486	71.6	204	5.9	2,282	65.7	1,858	53.5

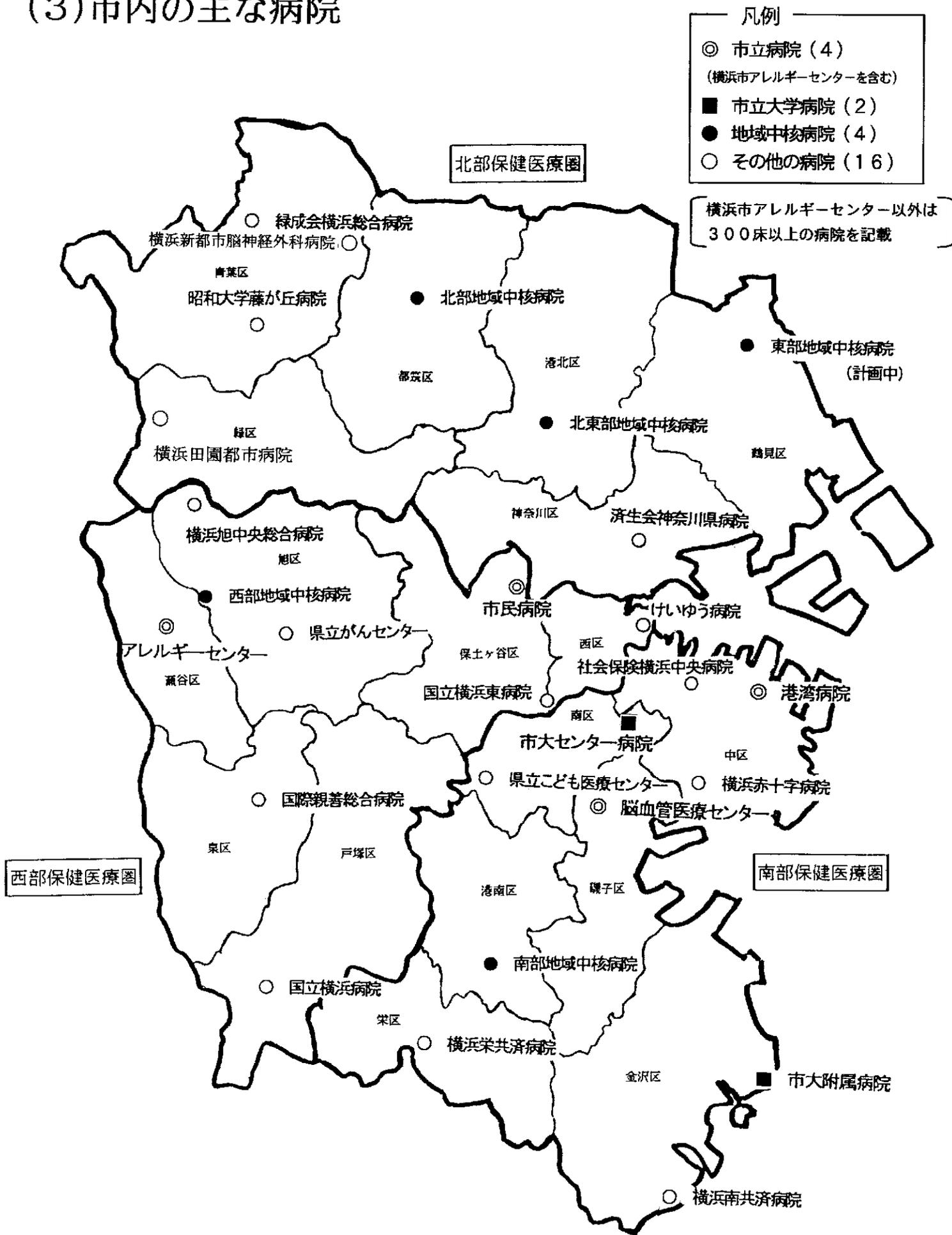
(2) 病床の種類別にみた病床数 (実数・人口10万対)

平成14年4月1日現在

	総 数		病 院								一 般 診 療 所	
	10万対		一 般 病 床		精 神 病 床		結 核 病 床		感 染 症 病 床		10万対	
	10万対		10万対		10万対		10万対		10万対		10万対	
病床数	29,789	858.3	22,163	638.6	5,476	157.8	410	11.8	24	0.7	1,716	49.4
総数に占める割合			74.4%		18.4%		1.4%		0.1%		5.7%	



(3)市内の主な病院



市内一般病床数に占める市立病院等の一般病床数

1

	市内 ² 一般病床数	市立病院 ^{3,4,5}		市立大学病院 ^{3,6}		地域中核病院 ^{3,7}		市立+市大+地域中核病院	
		一般病床数	割合	一般病床数	割合	一般病床数	割合	一般病床数	割合
	床	床	%	床	%	床	%	床	%
昭和 50年	11,576	699	6.0	954	8.2			1,653	14.3
51年	11,709	699	6.0	954	8.1			1,653	14.1
52年	11,874	699	5.9	954	8.0			1,653	13.9
53年	11,987	699	5.8	954	8.0			1,653	13.8
54年	12,244	699	5.7	954	7.8			1,653	13.5
55年	12,938	699	5.4	954	7.4			1,653	12.8
56年	13,969	699	5.0	954	6.8			1,653	11.8
57年	14,746	699	4.7	954	6.5			1,653	11.2
58年	15,491	699	4.5	954	6.2	500	3.2	2,153	13.9
59年	15,951	699	4.4	954	6.0	500	3.1	2,153	13.5
60年	16,276	699	4.3	954	5.9	500	3.1	2,153	13.2
61年	17,192	699	4.1	954	5.5	500	2.9	2,153	12.5
62年	18,546	766	4.1	954	5.1	1,018	5.5	2,738	14.8
63年	19,467	766	3.9	954	4.9	1,018	5.2	2,738	14.1
平成 元年	20,066	900	4.5	954	4.8	1,018	5.1	2,872	14.3
2年	20,733	900	4.3	954	4.6	1,018	4.9	2,872	13.9
3年	22,264	900	4.0	1,528	6.9	1,668	7.5	4,096	18.4
4年	22,355	900	4.0	1,528	6.8	1,668	7.5	4,096	18.3
5年	22,265	900	4.0	1,528	6.9	1,668	7.5	4,096	18.4
6年	22,229	900	4.0	1,528	6.9	1,668	7.5	4,096	18.4
7年	22,159	900	4.1	1,528	6.9	1,668	7.5	4,096	18.5
8年	22,116	1,184	5.4	1,244	5.6	1,668	7.5	4,096	18.5
9年	22,099	1,184	5.4	1,244	5.6	1,668	7.5	4,096	18.5
10年	21,944	1,184	5.4	1,244	5.7	1,668	7.6	4,096	18.7
11年	22,037	1,484	6.7	1,244	5.6	1,668	7.6	4,396	19.9
12年	21,823	1,484	6.8	1,247	5.7	1,668	7.6	4,399	20.2
13年	21,997	1,484	6.7	1,247	5.7	2,221	10.1	4,952	22.5
14年	22,163	1,484	6.7	1,247	5.6	2,221	10.0	4,952	22.3

1 許可病床数

2 市内一般病床数は、各年10月1日現在。ただし、平成14年は4月1日現在。

3 市立病院一般病床数、市立大学病院一般病床数、地域中核病院一般病床数は、各年12月31日現在。平成14年は4月1日現在。

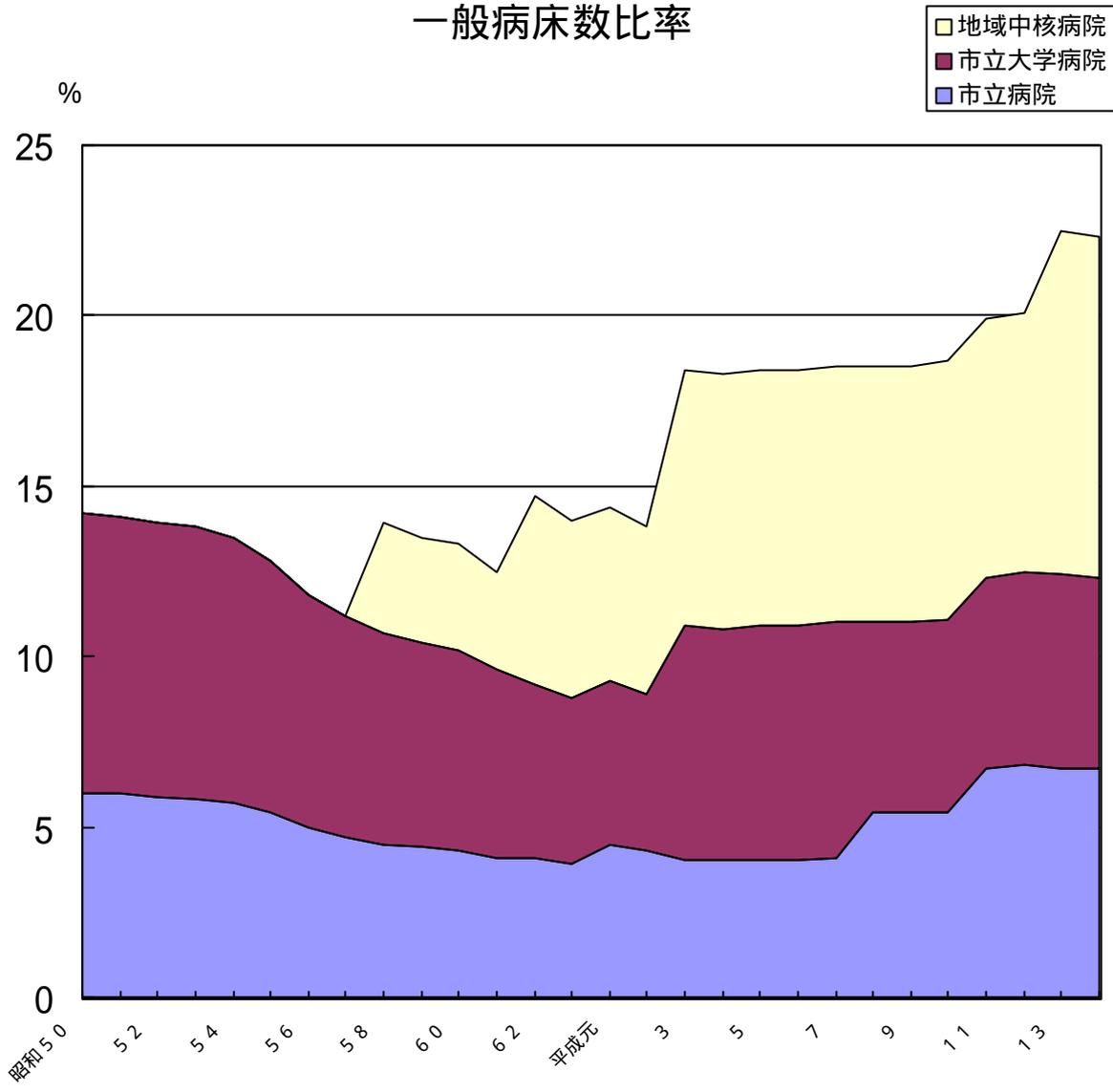
4 市立病院一般病床数は、市民病院、港湾病院及び脳血管医療センターの計。

5 港湾病院の一般病床数は、平成8年以降584床とした。

6 市立大学病院一般病床数は、市大附属病院、同センター病院の計。

7 地域中核病院一般病床数は、南部病院、西部病院、横浜労災病院及び北部病院の計。

市内一般病床数に占める市立病院等の 一般病床数比率



13大都市市内一般病床数に占める市立病院等の一般病床数

H13.4.1現在

	市立病院病床数 A	民間等病床数 B	全病床数 C	市立病院 病床比率 A / C
札幌市	810 44.4	30,786 1,689.4	31,596 1,733.9	2.6%
仙台市	501 49.9	12,194 1,214.1	12,695 1,264.0	3.9%
千葉市	527 59.4	7,003 788.7	7,530 848.1	7.0%
川崎市	1,177 93.8	7,446 593.7	8,623 687.5	13.6%
横浜市 (市立 + 市大 + 中核)	4,952 142.7	17,211 495.9	22,163 638.6	22.3%
横浜市 (市立 + 市大)	2,731 78.7	19,432 559.9	22,163 638.6	12.3%
横浜市 (市立のみ)	1,484 42.8	20,679 595.8	22,163 638.6	6.7%
名古屋市 (市立 + 市大)	2,316 106.9	19,674 908.1	21,990 1,015.0	10.5%
名古屋市 (市立のみ)	1,544 71.3	20,446 943.8	21,990 1,015.0	7.0%
京都市	566 38.7	19,827 1,354.5	20,393 1,393.1	2.8%
大阪市 (市立 + 市大)	2,945 113.3	33,187 1,276.7	36,132 1,390.0	8.2%
大阪市 (市立のみ)	1,831 70.4	34,301 1,319.6	36,132 1,390.0	5.1%
神戸市	1,720 115.0	13,547 905.9	15,267 1,020.9	11.3%
広島市	1,419 126.3	10,653 948.0	12,072 1,074.3	11.8%
北九州市	1,529 152.0	14,004 1,391.8	15,533 1,543.8	9.8%
福岡市	390 29.0	17,904 1,331.1	18,294 1,360.1	2.1%
東京都 (公社含む)	5,985 49.6	101,012 837.3	106,997 886.9	5.6%
東京都 (都立のみ(委託含む))	5,385 44.6	101,612 842.3	106,997 886.9	5.0%
合計 (市立 + 市大 + 中核)	24,837 78.3	304,448 960.3	329,285 1,038.6	7.5%
合計 (市立のみ)	18,883 59.6	310,402 979.1	329,285 1,038.6	5.7%

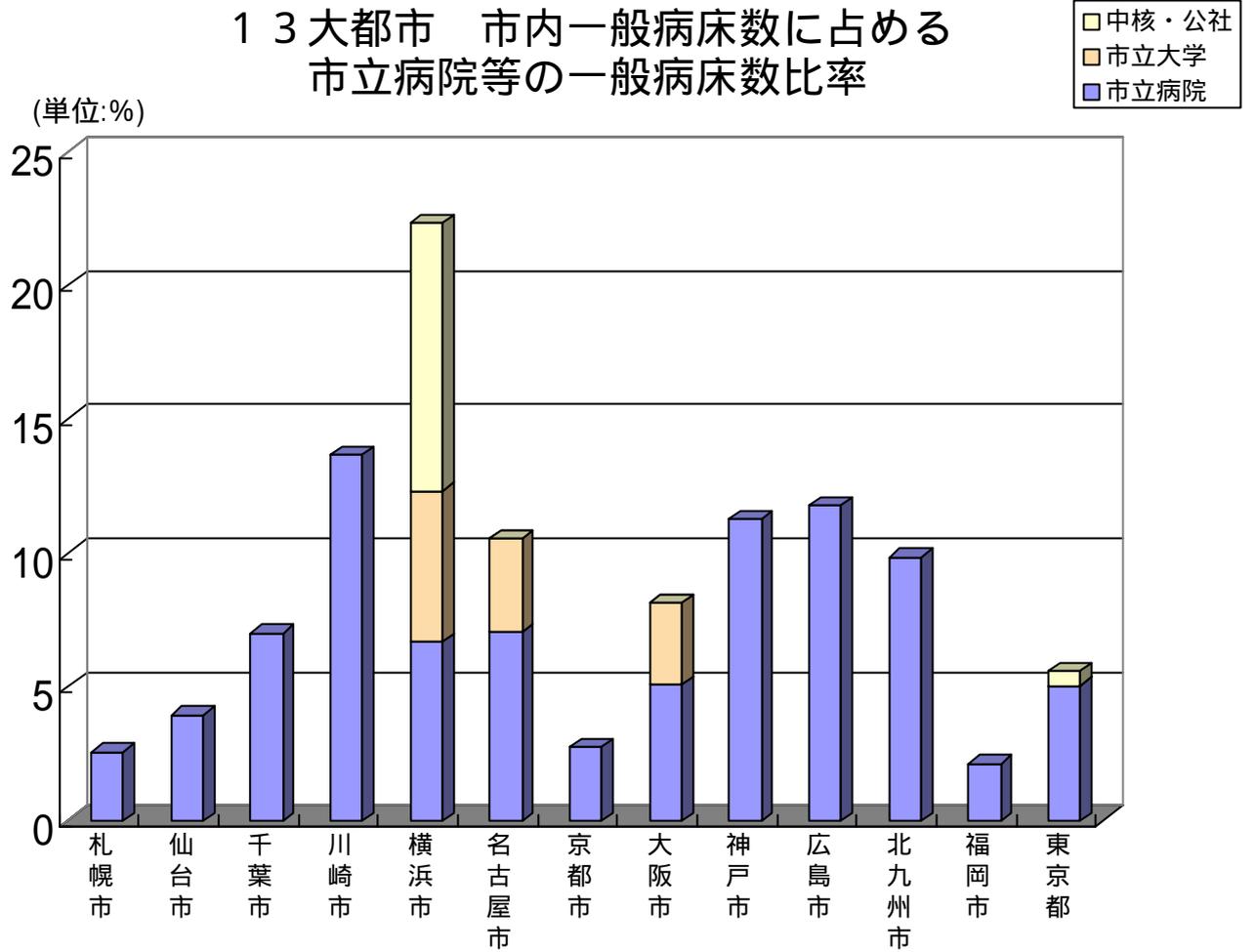
病床数(H14.4.1)

上段：実数
下段：人口10万対

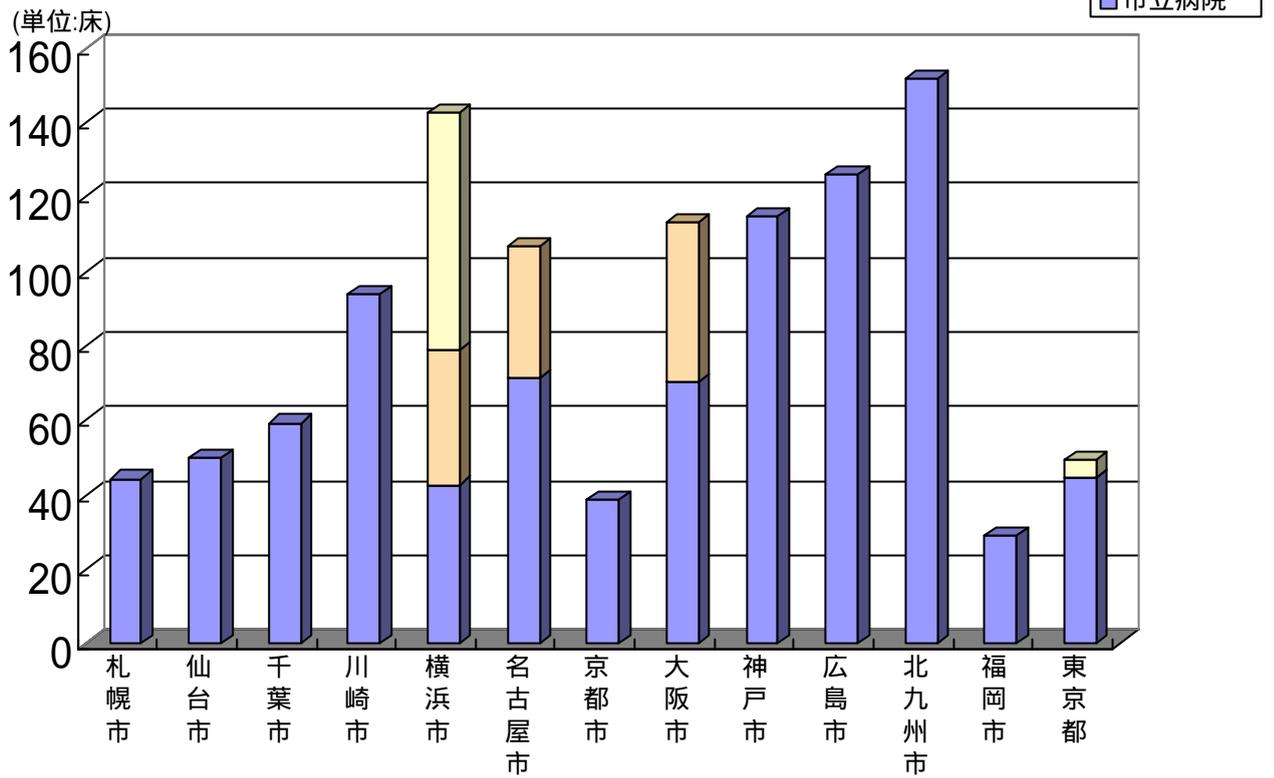
参考 横浜市内病床数の内訳

市立病院	中核病院	市立大学 附属病院	国立病院	県立病院	その他 公的病院	民間病院	計
1,484	2,221	1,247	1,102	1,179	1,016	13,914	22,163

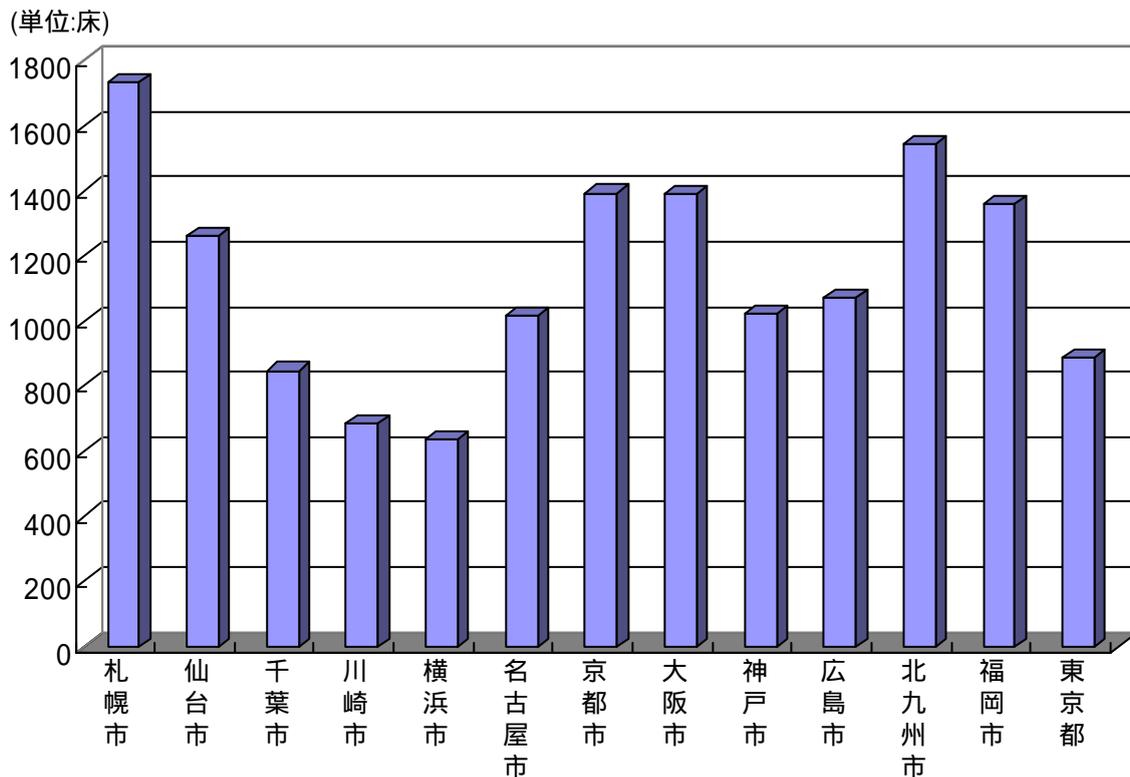
1 3大都市 市内一般病床数に占める 市立病院等の一般病床数比率



1 3大都市 市立病院等一般病床数（人口10万対）



1 3大都市 市内一般病床数（人口10万対）



市立病院等の概要

資料 4

市立病院の概要

	業 務 実 績	平成13年度 決 算 値	施 設 概 要 等
市 民 病 院	入 院 患 者 数	198,298 人	施設概要 昭和35年10月開院（平成3年10月再整備） ・所在地 保土ヶ谷区岡沢町56 ・病床数 624床（うち感染症病床24床） がん検診センターを併設 診療科目（20科目） 内科，呼吸器科，消化器科，循環器科，小児科， 外科，胸部外科，脳神経外科，整形外科， 皮膚科，泌尿器科，産婦人科，眼科， 耳鼻いんこう科，リハビリテーション科 放射線科，麻酔科，歯科口腔外科，神経内科， 神経精神科
	1 日 平 均 入 院 患 者 数	543 人	
	平均在院日数	17.5 日	
	病 床 利 用 率	87.1 %	
	外 来 患 者 数	429,103 人	
	1 日 平 均 外 来 患 者 数	1,751 人	
病院の特徴：がん検診，365日24時間救急，感染症指定医療機関，災害医療拠点病院，臨床研修病院			
港 湾 病 院	入 院 患 者 数	88,419 人	施設概要 昭和37年5月開院 ・所在地 中区新山下3丁目2番3号 ・病床数 300床 診療科目（14科目） 内科，小児科，外科，整形外科，脳神経外科， 皮膚科，泌尿器科，産婦人科，眼科， 耳鼻いんこう科，リハビリテーション科 放射線科，麻酔科，歯科口腔外科
	1 日 平 均 入 院 患 者 数	242 人	
	平均在院日数	16.9 日	
	病 床 利 用 率	80.7 %	
	外 来 患 者 数	216,190 人	
	1 日 平 均 外 来 患 者 数	882 人	
病院の特徴：災害医療拠点病院，臨床研修病院			
脳 血 管 医 療 セ ン タ ー	入 院 患 者 数	90,858 人	施設概要 平成11年8月開院 ・所在地 磯子区滝頭1丁目2番1号 ・病床数 300床 ・介護老人保健施設 80人 診療科目（6科目） 内科，脳神経外科，リハビリテーション科， 放射線科，麻酔科，神経内科
	1 日 平 均 入 院 患 者 数	249 人	
	平均在院日数	54.8 日	
	病 床 利 用 率	83.0 %	
	外 来 患 者 数	33,499 人	
	1 日 平 均 外 来 患 者 数	137 人	
病院の特徴：脳血管疾患への一貫した治療及び365日24時間救急，リハビリテーション，介護老人保健施設を併設			

市立大学病院の概要

	業 務 実 績	平成13年度 決 算 値	施 設 概 要 等
市大医学部 附属病院	入 院 患 者 数	203,751 人	施設概要 平成3年7月開院 ・所在地 金沢区福浦三丁目9番地 ・病床数 623床 診療科目 (21科目) 第1内科, 第2内科, 第3内科, 神経科, 小児科, 第1外科, 第2外科, 整形外科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 放射線科, 歯科口腔外科, 麻酔科, 脳神経外科, リハビリテーション科, 形成外科, 小児神経精神科, 神経内科
	1 日 平 均 入 院 患 者 数	558 人	
	平均在院日数	27.1 日	
	病 床 利 用 率	89.6 %	
	外 来 患 者 数	426,088 人	
	1 日 平 均 外 来 患 者 数	1,732 人	
病院の特徴：特定機能病院，災害医療拠点病院，臨床研修病院			
市大医学部 附属市民総合医療センター	入 院 患 者 数	234,611 人	施設概要 明治24年4月横浜市十全病院(県から移管) 平成12年1月市民総合医療センターと改称 ・所在地 南区浦舟町4丁目57番地 ・病床数 720床 診療科目 (21科目) 総合内科, 血液内科, 呼吸器内科, 腎臓内科, 内分泌・糖尿病内科, 神経内科, 小児科, 総合外科, 整形外科, 皮膚科, 泌尿器科, 婦人科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 放射線科, 歯科・口腔外科・矯正歯科, 麻酔科, 脳神経外科, リハビリテーション科, 形成外科, 臓器移植科
	1 日 平 均 入 院 患 者 数	643 人	
	平均在院日数	20.8 日	
	病 床 利 用 率	89.3 %	
	外 来 患 者 数	462,698 人	
	1 日 平 均 外 来 患 者 数	1,881 人	
病院の特徴：救命救急センターをはじめ8つの疾患センターを併設，災害医療拠点病院，臨床研修病院			

地域中核病院の概要

	業務実績	平成13年度 決算値	施設概要等
南部 病院 《済生会》	入院患者数	159,535 人	施設概要 昭和58年6月開院 ・所在地 港南区港南台3-2-10 ・病床数 500床 診療科目(18科目) 内科, 循環器科, 小児科, 外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 心臓血管外科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, リハビリテーション科, 放射線科, 麻酔科, 歯科口腔外科, 精神科
	1日平均 入院患者数	437 人	
	平均在院日数	13.1 日	
	病床利用率	87.4 %	
	外来患者数	426,479 人	
	1日平均 外来患者数	1,591 人	
病院の特徴: 365日24時間救急, 災害医療拠点病院, 臨床研修病院			
西部 病院 《聖マリアンナ 医科大学》	入院患者数	166,359 人	施設概要 昭和62年5月開院 ・所在地 旭区矢指町1197-1 ・病床数 518床 診療科目(26科目) 総合診療科, 腎臓・高血圧内科, 血液・腫瘍内科, リウマチ・膠原病内科, 消化器内科, 循環器内科, 内分泌代謝科, 呼吸器内科, 小児科, 一般外科, 消化器外科, 心臓血管外科, 胸部外科, 小児外科, 脳神経外科, 整形外科, 形成外科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 放射線科, 麻酔科, 神経内科, 神経精神科
	1日平均 入院患者数	456 人	
	平均在院日数	21.1 日	
	病床利用率	88.0 %	
	外来患者数	387,187 人	
	1日平均 外来患者数	1,429 人	
病院の特徴: 救命救急センター, 周産期センター, 災害医療拠点病院, 臨床研修病院			
(北東部) 労 災 病 院	入院患者数	230,856 人	施設概要 平成3年6月開院 ・所在地 港北区小机町3211 ・病床数 650床 診療科目(23科目) 内科, 心療内科, 神経内科, 精神科, 呼吸器科, 消化器科, 循環器科, 小児科, 外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 心臓血管外科, 皮膚科 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, リハビリテーション科, 放射線科, 麻酔科, 歯科, 歯科口腔外科
	1日平均 入院患者数	633 人	
	平均在院日数	15.8 日	
	病床利用率	97.3 %	
	外来患者数	602,056 人	
	1日平均 外来患者数	2,457 人	
病院の特徴: 労災医療, 365日24時間救急, 災害医療拠点病院, 臨床研修病院			
北 部 病 院 《昭和大学》	入院患者数	109,995 人	施設概要 平成13年4月開院 ・所在地 都筑区茅ヶ崎中央35-1 ・病床数 653床(うち精神病床50床) 診療科目(6疾患別センター, 14科) 呼吸器センター, 消化器センター, 循環器センター, 救急センター, メンタルケアセンター, 周産期センター 内科, 小児科, 皮膚科, 放射線科, 外科, 脳神経外科, 整形外科, 産婦人科, 泌尿器科 眼科, 耳鼻咽喉科, 麻酔科, 臨床検査科, 病院病理科
	1日平均 入院患者数	301 人	
	平均在院日数	12.3 日	
	病床利用率	60.5 %	
	外来患者数	183,964 人	
	1日平均 外来患者数	630 人	
病院の特徴: 緩和ケア, 精神科救急, 365日24時間救急, 災害医療拠点病院, 臨床研修病院			

横浜市立港湾病院再整備の概要



病院建物イメージ

横浜市立港湾病院は、横浜開港百年記念事業の一環として、昭和37年に開院しましたが、開院後40年近くが経過し、建物の老朽化、狭あい化が進み、時代の変化に対応した医療機能の充実や、患者サービスの向上を図ることが難しくなっております。

そこで、病院施設を一新し、地域における中核を担う病院として、再整備を行います。

1 再整備工事の概要

(1) 建設地

- ア 地名地番 中区新山下三丁目6番2号外（現病院正面向かい側の用地）
- イ 敷地面積 28,613㎡

(2) 規模・構造

- ア 延床面積 74,342㎡（地下駐車場等を含む）
- イ 構造・階数 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下1階地上8階（4階は設備階）
- ウ 建物高さ 8階屋上で38m（最高の高さ 47m）

(3) 駐車場

- ア 地下駐車場 約200台
 - イ 地上駐車場 約100台
- その他、現病院敷地側に200台程度の駐車場を整備する予定

(4) 工事スケジュール

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
病院建設工事	12年12月 着工	建設工事			15年12月 竣工予定
護岸工事		●	●		
		13年5月	護岸工事	15年3月	

(5) 計画図概要

図1, 2, 3のとおり

2 新病院の診療内容

(1) 病床数 634床（一般584床，精神50床）（現在は300床）

(2) 診療科目 22科（現在は14科）

内科，呼吸器科，消化器科，循環器科，神経内科，小児科，外科，整形外科，形成外科，脳神経外科，呼吸器外科，心臓血管外科，皮膚科，泌尿器科，産婦人科，眼科，耳鼻いんこう科，リハビリテーション科，精神科，放射線科，麻酔科，歯科口腔外科（アレルギー科）（ は新設診療科）

3 新病院の特徴

(1) 医療機能の充実

- ア 三大生活習慣病（心疾患，がん，脳血管疾患）に対する診断，治療機能を充実します。
- イ ICU(集中治療室)，CCU(心疾患集中治療室)，NICU(新生児集中治療室)などの集中治療機能を確保します。

- エ 手術機能を充実します。(バイオクリーン室等の整備など)
- オ リハビリテーション機能を充実します。
- カ 高度医療機器を整備します。
(アレルギー疾患に対する医療機能を充実します。)

(2) 外来患者のサービスの向上

- ア 診察室の個室化や番号呼び出しなど、プライバシーに配慮します。
- イ 医療情報システムを導入し、待ち時間の短縮を図ります。
- ウ 総合相談室を設置し、医療相談などの相談機能を充実するとともに、地域の医療機関との密接な連携を推進します。

(3) 入院患者の療養環境の向上

個室の割合を高くするとともに、4床室は廊下側ベッドにも窓を設けるなどプライバシーに配慮したレイアウトとします。

(4) 精神科医療の実施

精神科救急や老人性痴呆疾患の合併症治療に取り組みます。

(5) 救急医療の充実

24時間365日体制の救急医療(内科,小児科,外科など)を実施します。

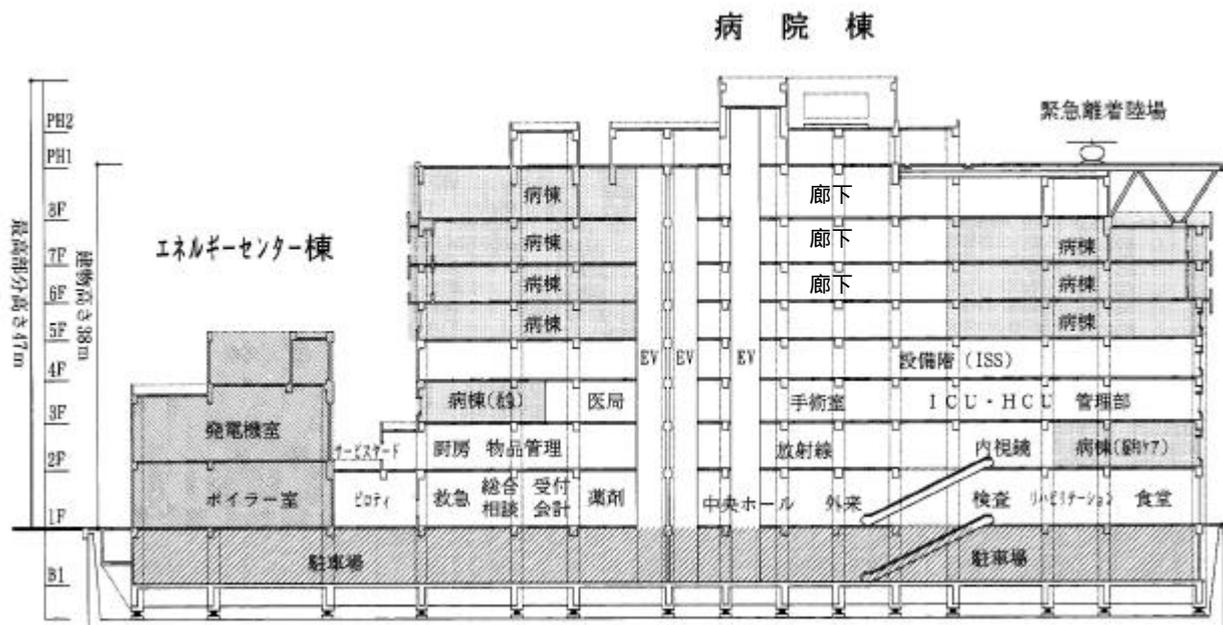
(6) 緩和ケア病棟の設置

横浜市立病院としては初めて、緩和ケア病棟を設置します。

(7) 災害対策

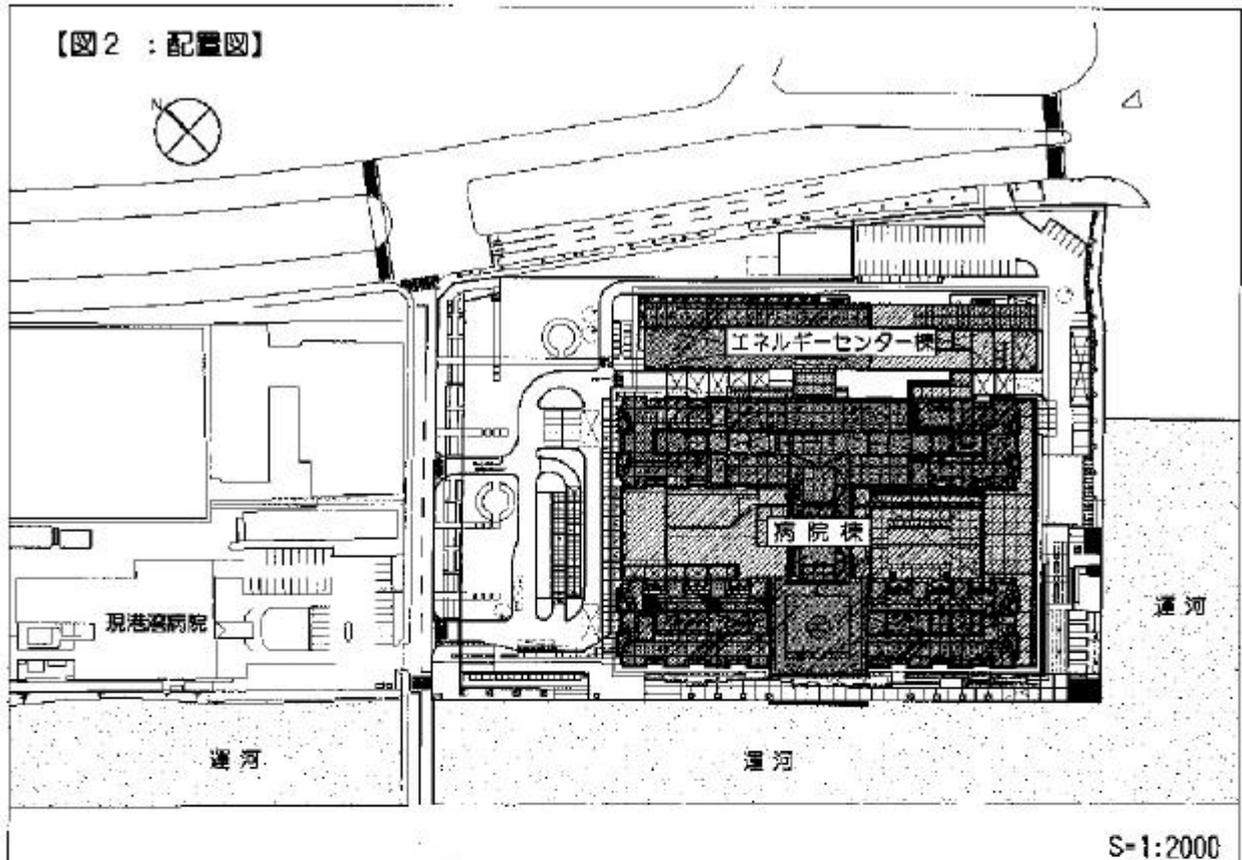
大地震等の災害時にも病院の機能を維持できるように、免震構造の採用や、医薬品、食料、水、燃料の備蓄を行います。

【図1】各階部門構成概略図

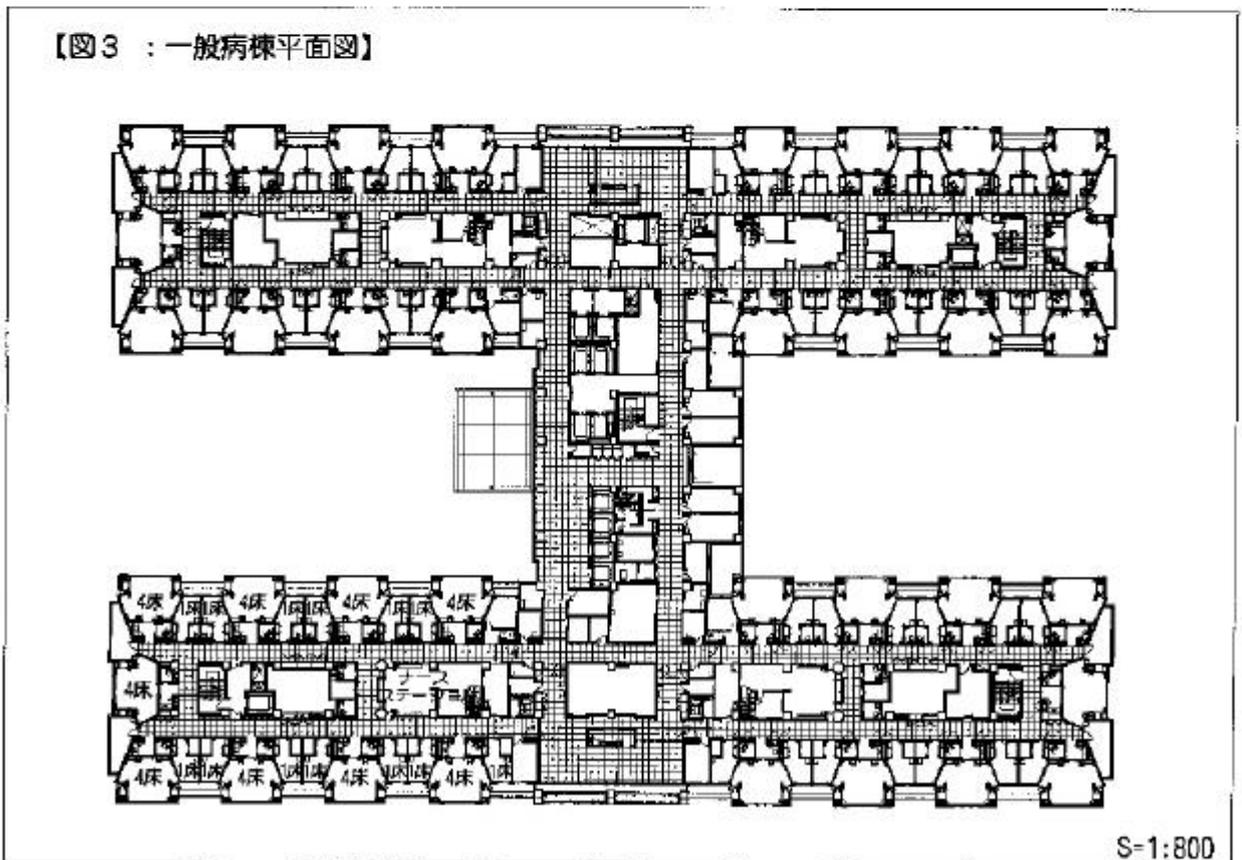


病院正面方向から見た断面

【図2 : 配置図】



【図3 : 一般病棟平面図】



神奈川県保健医療計画

平成14年2月

神奈川県

章 はじめに	
1 保健医療計画の基本的考え方 -----	1
(1) 計画の基本 -----	1
(2) 計画の推進 -----	2
2 計画の主要課題 -----	3
(1) 地域における保健医療の基盤づくり -----	3
(2) 保健・医療・福祉の総合的な取組みの推進 -----	4
(3) 生涯を通じた健康づくり運動の推進 -----	4
章 保健医療圏と基準病床数	
1 保健医療圏 -----	6
(1) 保健医療圏設定の意義 -----	6
(2) 保健医療圏 -----	6
2 基準病床数 -----	8
(1) 療養病床及び一般病床 -----	8
(2) 精神病床 -----	10
(3) 感染症病床 -----	11
(4) 結核病床 -----	11
章 保健医療の基盤づくり	
1 保健医療施設の機能分担及び連携の推進 -----	12
(1) かかりつけ医を中心とした地域医療連携の推進 -----	12
(2) 在宅医療の支援 -----	14
(3) 医薬分業の推進 -----	16
2 医療提供機能の整備の目標 -----	18
(1) 地域医療支援病院の整備に向けて -----	18
(2) 機能を考慮した医療提供施設の整備の目標 -----	20
(3) 県立病院の整備 -----	28
3 救急医療の確保 -----	32
(1) 救急医療 -----	32
(2) 小児救急医療対策 -----	38
(3) 周産期医療対策 -----	42
(4) 精神科救急医療対策 -----	44
(5) 救急医療情報システム -----	46
4 災害時医療・健康危機管理体制の確保 -----	48
(1) 災害時医療 -----	48
(2) 健康危機管理体制の確保 -----	50
5 保健医療を担う人材の育成・確保 -----	52
(1) 県立かながわ保健医療福祉大学(仮称)の整備 -----	52
(2) 保健医療従事者の育成・確保 -----	54

章 保健・医療・福祉の総合的な取組みの推進	
1 保健・医療・福祉の総合的な取組みの推進	56
(1) 保健・医療・福祉サービスの総合的な提供	56
(2) 難病対策	58
(3) リハビリテーションの推進	60
(4) ターミナルケアの推進	62
2 保健・医療・福祉の連携と機能分担	64
～循環器疾患への取組みを中心として～	
章 生涯を通じた健康づくり	
1 地域に根ざした健康づくりの推進	72
(1) かながわ健康プラン21の推進	72
(2) 健康づくり推進のための基盤整備	74
2 ライフステージに応じた保健対策	76
(1) 母子保健	76
(2) 学校保健	78
(3) 職域保健	80
(4) 成人・高齢者保健	82
章 多様な保健医療課題への対応	
1 メンタルヘルス対策	84
(1) 精神保健医療の総合的対策	84
(2) こころの健康づくりと社会復帰施策の充実	86
2 感染症対策	88
(1) 感染症対策	88
(2) エイズ対策	90
(3) 結核対策	92
3 歯科保健対策	94
4 保健医療の安全確保と情報提供	96
(1) 医療に関する安全対策	96
(2) 保健医療に関する情報提供及び情報開示	98
(3) 医薬品の安全確保と情報提供	100
5 多様な課題への対応	102
(1) 臓器移植・骨髄移植対策	102
(2) 血液の確保対策	104
(3) アレルギー性疾患対策	106

章 保健医療圏と基準病床数

1 保健医療圏

(1) 保健医療圏設定の意義

すべての県民が住み慣れた地域で健康に生活していくためには、誰もが、必要なときに身近なところで適切な保健医療サービスを受けられることが求められています。

こうした県民のニーズに対応するため、市町村などの行政区域に加え、住民の日常生活の行動範囲や患者が医療機関を受診する際の移動状況などを考慮したうえで、健康づくりから疾病の予防、治療、社会復帰までの総合的な保健医療体制を整備するための地域単位として、一次、二次及び三次の保健医療圏を設定します。

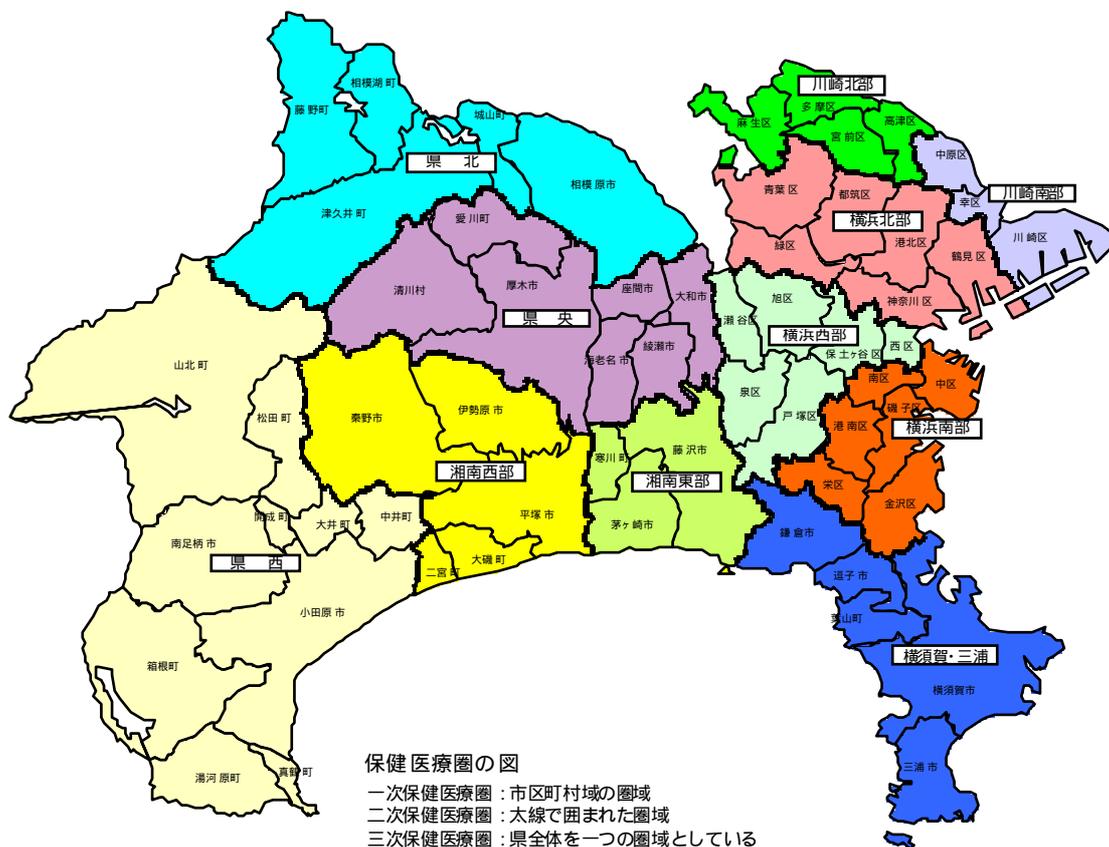
県では、市町村、医療機関及び医療関係団体などと協調し、保健医療圏を単位として、保健医療資源の適正な配置と医療提供体制のしくみづくりを進めていきます。

なお、本県では、保健・医療・福祉が連携した総合的な取組みを推進するとの考えから、高齢者や障害者に対する施策を実施するために設定している高齢者保健福祉圏域や障害保健福祉圏域と二次保健医療圏域を一致させています。

(注：保健医療計画以外の計画では、横浜市域、川崎市域をそれぞれ1圏域としています。)

(2) 保健医療圏

保健医療計画では、次の一次、二次及び三次の保健医療圏を設定しています。



一次保健医療圏

地域住民に密着した健康相談などの保健・福祉サービスと日常の健康管理や「かかりつけ医(歯科医)」等による初期医療を提供していくための最も基礎的な地域単位であり、市区町村を区域としています。

また、休日夜間急患センターなどによる初期救急医療や母子保健事業などの住民に身近な保健サービスは、市町村が主体となって実施しており、さらに平成12年4月から介護保険制度が実施されるなど、市町村の役割はますます重要になっています。

二次保健医療圏

一般的な入院医療への対応を図り、保健・医療・福祉の連携した総合的な取り組みを行うために市区町村域を越えて設定する圏域です。

二次保健医療圏は、一般的な保健医療需要に対応する区域であることから、医療機能を考慮した病院や救急医療体制の整備のほか、各種の保健・医療・福祉施策の実施、整備を図るための地域的な単位となっています。

県内の二次保健医療圏は、次の市区町村で構成される11圏域です。

二次保健医療圏名と構成市区町村

二次保健医療圏名	市 区 町 村
横 浜 北 部	鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区
横 浜 西 部	西区、保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
横 浜 南 部	中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区
川 崎 北 部	高津区、宮前区、多摩区、麻生区
川 崎 南 部	川崎区、幸区、中原区
横 須 賀 三 浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
湘 南 東 部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
湘 南 西 部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
県 央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
県 北	相模原市、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町
県 西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町
計(11圏域)	(19市17町1村)

三次保健医療圏

一次及び二次の保健医療体制と連携し、高度・特殊な専門的医療を提供するとともに、広域的に実施することが必要な保健医療サービスを提供するために設ける圏域で、県全域を範囲としています。

2 基準病床数

保健医療圏内で、効率的な医療提供体制を確立するためには、医療機能の整備が必要であり、なかでも、地域における病院の病床数は最も重要な要素となります。

保健医療計画では、医療法の第30条の3第2号に基づき、療養病床、一般病床、精神病床、感染症病床及び結核病床の、それぞれの基準となる病床数(基準病床数)を定めます。

(1) 療養病床及び一般病床

「療養病床」とは、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院・治療させるための病床のことで、この療養病床、精神病床、感染症病床及び結核病床を除いた病床を「一般病床」といいます。

この療養病床と一般病床を合わせて、二次保健医療圏ごとに基準病床数を定めます。

総合的な医療提供体制を確保するためには、医療の需要・供給の状況を的確に把握し、圏域ごとに医療機能の整備の方向性を明らかにするとともに、圏域内の医療資源の効率的活用や医療施設相互の機能連携など、市町村や医療機関と緊密な連携を図りながら進めていく必要があります。

医療法等の規定に基づく、病院の療養病床及び一般病床の基準病床数は、次のとおりです。

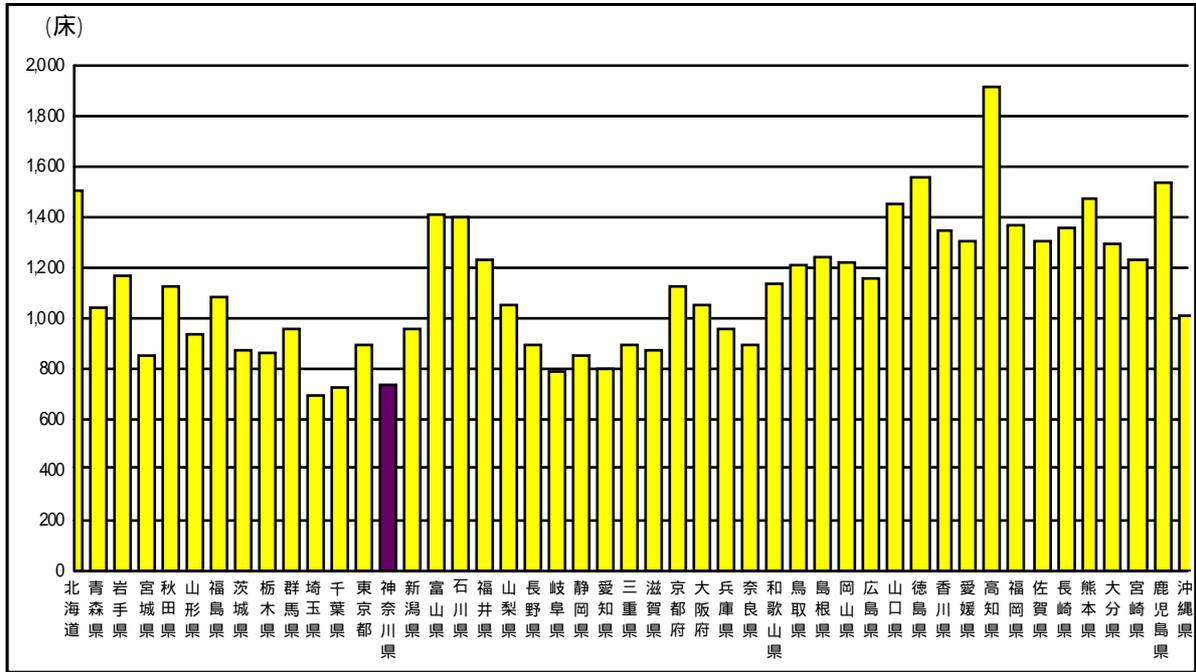
二次保健医療圏名	基準病床数	既存病床数(参考) (平成14年1月1日現在)
横浜北部	8,294床	7,874床
横浜西部	7,546床	7,243床
横浜南部	6,480床	7,447床
川崎北部	4,187床	3,885床
川崎南部	3,629床	5,355床
横須賀・三浦	5,498床	5,116床
湘南東部	3,810床	3,440床
湘南西部	4,402床	5,305床
県 央	5,430床	5,336床
県 北	5,857床	6,943床
県 西	2,855床	3,525床
合 計	57,988床	61,469床

注1 療養病床及び一般病床については、届出期間中の経過的旧その他の病床を含みます。

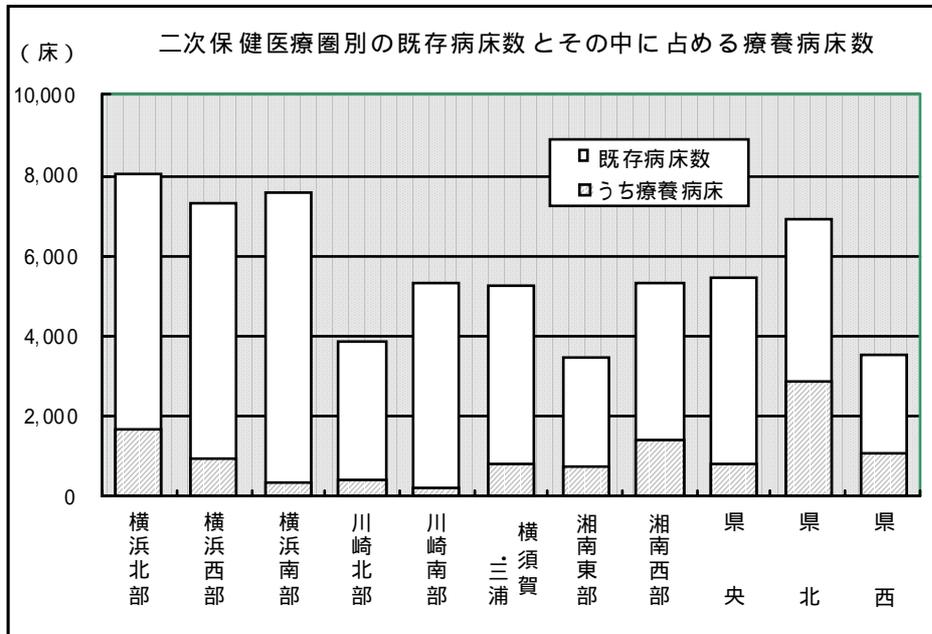
注2 既存病床数は、医療法第7条による開設許可を受けた病院の病床数及び診療所の療養病床数に、医療法施行規則に定める補正を行った病床数です。以下、11ページまで同様です。

人口10万人あたりの既存病床数(全国)

(平成13年3月31日現在)



(平成13年3月31日現在)



「療養病床」には、改正前の医療法による療養型病床群及び特例許可老人病院の病床を含みます。

(診療所の療養型病床群は除く)

(2) 精神病床

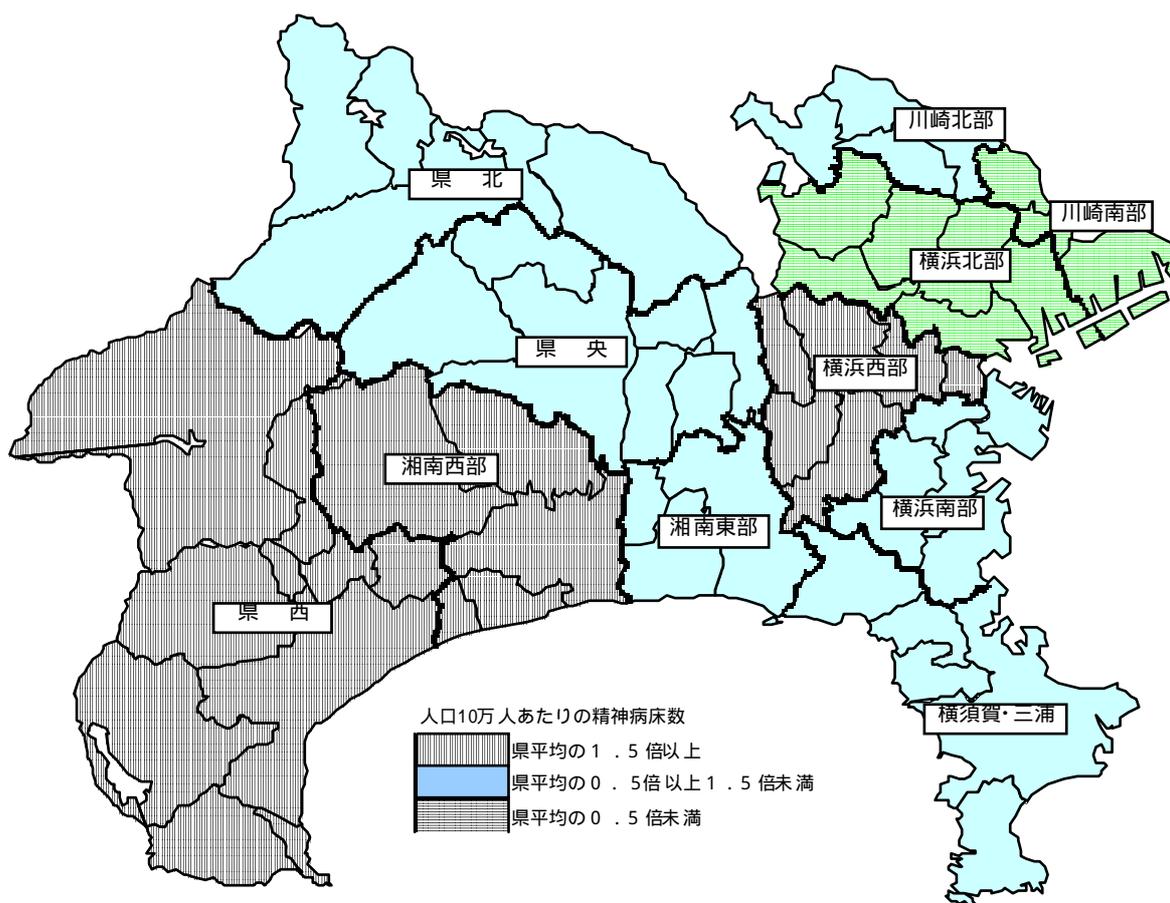
精神病床の基準病床数は、保健医療計画では県全域で算定されるものですが、精神病床の分布状況には地域的な偏在が見られます。

精神障害者の社会復帰を促進し、痴呆性高齢者施策を充実していくためには身近な地域に受け皿となる精神病床の整備が欠かせないことから、民間医療機関等の理解と協力を求め、こうした状況を改善していく必要があります。

医療法等の規定に基づき、病院の精神病床の基準病床数は、次のとおりです。

種 別	基準病床数	既存病床数(参考) (平成14年1月1日現在)
精 神 病 床	17,442床	14,689床

精神病床の地域分布



(3) 感染症病床

感染症病床の基準病床数は、医療法の規定に基づき、今回の保健医療計画から定めることとされ、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)第38条第2項の規定により、知事が指定した第一種感染症指定医療機関及び第二種感染症指定医療機関の感染症病床の合計数を基準として定めます。

なお、感染症に迅速かつ的確に対応し、県民が安心して生活していけるよう、医療機関の理解と協力のもと、第一種感染症指定医療機関の感染症病床を、速やかに指定する必要があります。

種 別	区 域	指定病床数	指定医療機関名
第一種感染症病床	全 県	2 床	—————
第二種感染症病床	横浜市域	24 床	横浜市立市民病院
	川崎市域	12 床	川崎市立川崎病院
	横須賀・三浦	6 床	横須賀市立市民病院
	湘南東部	6 床	藤沢市民病院
	湘南西部	6 床	平塚市民病院
	県 央	6 床	県立厚木病院
	県 北	6 床	相模原協同病院
	県 西	6 床	県立足柄上病院
合 計		74 床	

(4) 結核病床

結核病床の基準病床数は、精神病床と同様に県全域で算定します。

医療法等の規定に基づく、病院の結核病床の基準病床数は、次のとおりです。

種 別	基準病床数	既存病床数(参考) (平成14年1月1日現在)
結 核 病 床	538床	765床

市立病院の果たしてきた役割

横浜市では、急速な人口増に対応するため、市立病院、市立大学病院の増床再整備を行い、また、方面別に公的団体を誘致して地域中核病院の整備を進めるなど地域医療の充実を図ってきました。

市立病院、市立大学病院、地域中核病院は、横浜市の医療提供体制の中で重要な役割を果たしてきています。

1 先導的医療の提供

市立病院は、市が運営している医療機関として、医療施策の懸案事項に対して、政策的に迅速かつ積極的な対応を行うことができます。

市立病院及び市立大学病院では、『横浜市立病院医療憲章』を平成12年1月に定め、患者自らの知る権利と自己決定権を尊重することとし、積極的な情報開示、インフォームドコンセントの徹底も図ってきました。

また、エイズ医療など他の医療機関では取り組みにくい医療についても、政策的に提供してきました。

市立病院が先導的役割を担うことで、地域医療全体の質の向上に貢献しています。

2 政策的医療の提供

市立病院は、救急医療、感染症医療など現在の診療報酬体系では不採算で政策的に提供しなければならない医療を提供しています。

また、個々の疾病に対しても、がんの早期発見、早期治療に対応する中核的施設として市民病院がん検診センターの設置や寝たきりの主な原因となる脳血管疾患の新たな治療を行う脳血管医療センターの設置など、先進的な取り組みをしてきました。

これらの政策的医療を提供するためには、市立病院として総合的な診療体制と充実した医療機能をもつことが必要となります。

3 市民の健康危機への対応

市立病院は、市の施策に対して迅速な対応が可能な病院として、0-157 など、感染症の集団発生への対応や、横浜駅異臭事件、東海村の放射線事故など、有事の際、迅速な対応を図りました。また、健康危機に備え、解毒剤や抗生物質、災害時医薬品の備蓄を行っています。

4 医療機関との連携

349万都市において、市立病院のみで、市民に必要な医療を提供することは不可能です。これまで、市立病院は、市立大学病院、地域中核病院をはじめ、他の公的医療機関や民間病院と連携を行いながら市の施策に迅速に対応してきました。

市立病院の経営の現状について

1 経営状況（平成13年度までは決算額，14年度は予算額）

【医業収支】《診療等の収入から費用を差し引いた収支》（単位：百万円）

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
市民病院	1,617	1,513	1,683	1,567	2,172
港湾病院	904	898	1,009	1,357	1,259
脳血管医療センター		2,469	3,911	3,712	3,788
計	2,521	4,880	6,603	6,636	7,219

脳血管医療センターは平成11年8月に開院，12年6月全床オープン。

【経常収支】《総収入から総費用を差し引いた収支》（単位：百万円）

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
市民病院	755	613	757	836	1,238
港湾病院	384	379	484	872	708
脳血管医療センター		1,512	3,093	2,509	2,429
計	1,139	2,504	4,334	4,217	4,375

脳血管医療センターは平成11年8月に開院，12年6月全床オープン。

【繰入金】《地方公営企業法に基づく一般会計からの負担金，補助金》（単位：百万円）

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
市民病院	2,725 (2,444)	2,711 (2,450)	2,728 (2,464)	2,802 (2,558)	2,834 (2,595)
港湾病院	1,559 (852)	1,507 (860)	1,634 (856)	1,671 (886)	2,589 (911)
脳血管医療センター	426 (19)	3,791 (1,689)	1,627 (1,290)	2,679 (1,749)	3,806 (1,852)
計	4,710 (3,315)	8,009 (4,999)	5,989 (4,610)	7,152 (5,193)	9,229 (5,358)

収益的収入と資本的収入の合計額。下段（ ）内は収益的収入。

地方公営企業法で認められている主なもの

救急，集団検診，感染症等の政策医療

ICU，高度医療機器等の高度医療

リハビリテーション等の特殊医療

建設工事，企業債の償還等の建設改良費

2 収 入 (平成12年度決算値)

【診療単価】《診療単価=診療報酬+自主料金(選定療養費(除室料),分べん料,文書料)》

	市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市	民間病院
入院診療単価円	37,605	35,064	29,091	42,043	43,493	44,039	39,655	32,700
外来診療単価	9,974	8,531	8,448	10,973	7,916	10,653	9,555	8,200
入院収益(百万円)	7,447	3,129	2,276	6,789	7,385	9,587	7,369	-
外来収益	4,357	1,822	234	4,677	2,881	6,401	3,342	-

「病院経営実態調査報告」,「病院経営分析報告」

(全国公私病院連盟)による。

【自主料金】《診療報酬以外で,病院が独自に徴収できる料金》 (単位:円)

	市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市
自賠償診断書	3,150	3,150	3,150	5,250	5,250	5,250	3,885
その他の診断書	1,050	1,050	1,050	2,100	2,625	2,500	1,702
分娩料	80,000	80,000	-	115,000	100,000	146,667	82,231
初診時特定療養費	1,380	1,140	1,700	2,100	1,500	3,000	0~1,700

【病床稼働率】《年間延病床数に対する実稼働病床数の割合》

	市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市	民間病院
病床数(床)	624	300	300	500	518	650	592	231
病床稼働率(%)	87.0	81.5	75.0	88.5	89.1	96.7	89.6	81.7
1床当りの収入(円)	11,935	10,432	7,965	13,579	14,257	14,749	12,448	9,867

3 費用（平成12年度決算値）

【人件費】

	市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市	民間病院
職員数（人）	771	352	416	640	654	964	-	-
人件費（百万円）	6,623	2,931	3,066	4,060	4,279	5,906	-	-
医業収益比率（%）	53.2	58.8	119.3	34.5	40.3	35.6	63.2	49.0

[参考] 職員数等

《100床当たり職員数》

（単位：人）

	市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市	民間病院
全職員	123.6	117.3	139.8	128.0	130.7	148.3	120.9	127.5
医師	15.1	14.7	9.7	17.6	26.8	22.2	16.1	13.1
看護職員	79.2	65.0	87.0	79.4	74.5	72.5	76.3	71.6

《医師，看護職員1人当たり患者数》

（単位：人）

		市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市	民間病院
医師	入院	4.9	5.4	7.3	5.0	3.3	4.4	5.3	7.4
	外来	10.8	12.8	2.6	17.5	10.5	17.1	10.0	15.4
看護職員	入院	1.0	1.3	0.8	1.1	1.2	1.3	1.2	1.6
	外来	2.1	3.2	0.3	3.9	3.8	5.2	2.3	-

【薬品費】

	市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市	民間病院
薬品費(百万円)	3,276	1,304	278	2,863	1,610	2,660	-	-
医業収益比率（%）	26.3	26.2	10.8	24.3	15.2	16.0	-	16.3

【経費】《病院施設の運営に要する費用》

	市民病院	港湾病院	脳血管	南部病院	西部病院	労災病院	指定都市	民間病院
経費総額(百万円)	2,632	1,024	1,197	2,296	3,063	3,684	-	-
うち委託料	1,502	657	808	1,252	1,603	1,683	-	-
うち光熱水費	398	133	230	278	345	392	-	-
医業収益比率（%）	24.5	24.1	50.4	19.5	28.9	22.2	23.6	16.7

1 3 大都市主要病院経営状況(12年度自治省決算統計資料)

	病床数	(百万円)		経常収支 比率 (%)	繰入金を 除く経常 収支比率 (%)	繰入金を除く医業収益に占める費用の割合(%)			
		経常収支	繰入額			人件費	材料費	経費	減価 償却費
札幌市立病院	820	1,338	3,813	93.5	81.2	51.4	34.3	17.1	11.5
仙台市立病院	525	118	3,068	101.0	80.9	61.2	34.4	23.5	1.9
千葉市立病院	301	10	1,458	100.1	78.9	61.2	22.3	25.8	10.3
東京都 広尾病院	500	304	3,379	97.1	65.0	79.8	31.1	30.4	8.9
川崎市 川崎病院	733	1,031	5,781	95.0	66.7	55.0	33.1	25.4	17.1
名古屋市 東市民病院	498	18	1,403	100.2	83.4	67.3	25.8	15.4	6.4
京都市 市立病院	586	0	2,593	100.0	81.5	57.0	36.3	13.9	8.2
大阪府 大塚総合医療センター	1,063	385	10,078	98.8	68.3	61.8	37.1	22.4	13.0
神戸市 中央市民病院	792	41	4,305	99.8	83.3	59.3	37.2	17.1	4.1
広島市 広島市民病院	825	437	2,492	97.9	89.0	50.4	35.5	20.0	5.4
北九州市 医療センター	636	138	1,583	101.3	89.4	47.9	26.3	19.9	7.0
福岡市 市民病院	200	345	929	93.0	74.0	45.1	37.4	22.3	10.3
市民病院	624	757	2,728	95.2	79.7	53.2	35.8	24.5	7.5
港湾病院	300	484	1,634	92.4	78.9	58.8	37.7	24.1	5.4
脳血管医療 センター	300	3,093	1,627	57.5	39.8	119.3	19.6	50.4	69.4

繰入額については、収益的収入と資本的収入の合計額

地域中核病院経営状況(12年度決算)

	病床数	(百万円)		経常収支 比率 (%)	繰入金を 除く経常 収支比率 (%)	市補助金を除く医業収益に占める費用の割合(%)			
		経常収支	繰入額			人件費	材料費	経費	減価 償却費
南部病院	500	193	202	101.6	100.1	44.5	33.2	19.5	2.1
西部病院	518	39	364	99.6	96.4	40.9	25.6	28.9	6.7
労災病院	650	124	0	100.7	100.7	36.6	32.0	24.9	9.8

市立病院経営状況統計資料

目 次

市立病院業務実績（平成13年度決算）

1 - 1	収入	9 - 2 頁
1 - 2	支出	9 - 3 頁
2	患者実績	9 - 4 頁
3	患者一人あたりの診療収入	9 - 5 頁
4	業務実績	9 - 5 頁
	市立病院の経常収支の推移	9 - 6 頁

市立病院業務実績（平成13年度）

1 - 1 収入

（単位：千円）

	市民病院			港湾病院			脳血管医療センター		
	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減
病院事業収益	13,888,408	15,099,120	1,210,712	5,953,833	5,876,736	77,097	5,194,435	4,183,709	1,010,726
医業収益	12,461,743	13,674,550	1,212,807	5,371,055	5,324,930	46,125	3,249,582	2,745,561	504,021
入院収益	7,378,573	7,447,184	68,611	3,092,311	3,129,528	37,217	2,641,762	2,276,792	364,970
外来収益	3,165,809	4,356,500	1,190,691	1,898,217	1,822,220	75,997	315,860	234,203	81,657
検診収益	288,902	316,966	28,064						
室料差額収益	309,091	330,318	21,227	34,560	32,895	1,665	91,455	58,856	32,599
一般会計繰入金	1,319,368	1,223,582	95,786	345,967	340,287	5,680	200,505	175,710	24,795
医業外収益	1,426,665	1,424,570	2,095	582,778	551,806	30,972	1,618,417	1,165,060	453,357
国・県補助金	43,286	44,413	1,127	5,671	5,954	283	1,656	0	1,656
一般会計繰入金	1,238,538	1,240,642	2,104	539,683	515,783	23,900	1,548,186	1,114,718	433,468
その他	144,841	139,515	5,326	37,424	30,069	7,355	68,575	50,342	18,233
介護老人保健施設収益							326,436	273,088	53,348
入所収益							292,152	241,740	50,412
通所者収益							23,603	23,843	240
室料差額収益							10,680	7,504	3,176
その他							1	1	0

経常収支	836,420	756,827	79,593	871,789	484,362	387,427	2,509,127	3,092,809	583,682
医業収支	1,567,088	1,682,931	115,843	1,357,396	1,008,818	348,578	3,711,740	3,911,457	199,717
現金収支	366,372	427,489	61,117	552,737	181,037	371,700	740,376	1,310,064	569,688

病院事業資本の収入	244,475	263,511	19,036	5,407,403	10,765,154	5,357,751	930,531	336,326	594,205
資本的収入	244,475	263,511	19,036	5,407,403	10,765,154	5,357,751	930,531	336,326	594,205
企業債	0	0	0	4,622,000	9,987,000	5,365,000	0	0	0
一般会計繰入金	244,475	263,511	19,036	785,403	778,154	7,249	930,531	336,326	594,205
国・県補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資本的収支不足額	640,495	712,280	71,785	112,551	170,089	57,538	266,490	170,262	96,228
----------	---------	---------	--------	---------	---------	--------	---------	---------	--------

長期借入金	0	0	0	422,912	351,126	71,786	973,129	1,370,725	397,596
-------	---	---	---	---------	---------	--------	---------	-----------	---------

1 - 2 支出

(単位：千円)

	市民病院			港湾病院			脳血管医療センター		
	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減
病院事業費用	14,724,828	15,855,947	1,131,119	6,825,622	6,361,098	464,524	7,703,562	7,276,518	427,044
医業費用	14,028,831	15,357,481	1,328,650	6,728,451	6,333,748	394,703	6,961,322	6,657,018	304,304
給与費	7,348,355	7,038,150	310,205	3,516,729	3,110,543	406,186	3,347,953	3,165,455	182,498
うち職員給与費	6,943,704	6,623,038	320,666	3,319,959	2,931,459	388,500	3,228,942	3,066,575	162,367
材料費	3,129,707	4,458,901	1,329,194	1,905,307	1,876,989	28,318	653,949	504,642	149,307
薬品費	1,949,747	3,276,154	1,326,407	1,346,053	1,303,869	42,184	395,045	278,389	116,656
診療材料費	1,019,793	1,009,916	9,877	472,942	491,335	18,393	163,902	149,142	14,760
給食材料費	145,250	153,117	7,867	70,508	70,167	341	91,104	75,330	15,774
医療消耗備品費	14,917	19,714	4,797	15,804	11,618	4,186	3,898	1,781	2,117
経費	2,530,065	2,632,398	102,333	1,031,900	1,024,121	7,779	1,289,115	1,196,503	92,612
光熱水費	389,101	397,870	8,769	127,275	133,390	6,115	208,091	229,913	21,822
修繕費	123,730	105,510	18,220	59,698	39,584	20,114	5,406	4,649	757
賃借料	412,808	436,656	23,848	77,251	78,789	1,538	87,314	87,717	403
委託料	1,428,308	1,501,933	73,625	650,534	656,941	6,407	920,653	808,352	112,301
その他	176,118	190,429	14,311	117,142	115,417	1,725	67,651	65,872	1,779
研究研修費	37,119	43,716	6,597	19,583	18,770	813	9,293	7,673	1,620
減価償却費等	983,585	1,184,316	200,731	254,932	303,325	48,393	1,661,012	1,782,745	121,733
医業外費用	695,997	498,466	197,531	97,171	27,350	69,821	742,240	619,500	122,740
支払利息及び諸費	468,494	489,083	20,589	20,479	19,320	1,159	634,466	619,404	15,062
繰延勘定償却、 控除対象外消費税	219,207	0	219,207	64,120	0	64,120	107,739	0	107,739
その他	8,296	9,383	1,087	12,572	8,030	4,542	35	96	61
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0

病院事業資本的支出	884,970	975,791	90,821	5,519,954	10,935,243	5,415,289	1,197,021	506,588	690,433
建設改良費	518,258	580,516	62,258	5,051,361	10,301,970	5,250,609	1,159	1,140	19
企業債償還金	366,712	395,275	28,563	186,424	172,486	13,938	790,499	505,448	285,051
長期借入金返還金				282,169	460,787	178,618	405,363	0	405,363

一般会計繰入金計	2,802,381	2,727,735	74,646	1,671,053	1,634,224	36,829	2,679,222	1,626,754	1,052,468
収益的収入	2,557,906	2,464,224	93,682	885,650	856,070	29,580	1,748,691	1,290,428	458,263
資本的収入	244,475	263,511	19,036	785,403	778,154	7,249	930,531	336,326	594,205

2 患者実績

		市民病院			港湾病院			脳血管医療センター		
		平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減
入院	延患者数(人)	198,298	198,038	260	88,419	89,253	834	90,858	78,265	12,593
	1日平均患者数(人)	543	543	0	242	245	3	249	214	35
	平均在院日数(日)	17.5	18.4	0.9	16.9	16.5	0.4	54.8	55.2	0.4
	一般病床利用率(%)	90.5	90.4	0.1	80.7	81.5	0.8	83.0	75.0	8.0
外来	延患者数(人)	429,103	436,808	7,705	216,190	214,047	2,143	33,499	27,722	5,777
	初診(人)	37,020	39,883	2,863	13,666	13,791	125	2,568	2,337	231
	再診(人)	392,083	396,925	4,842	202,524	200,256	2,268	30,931	25,385	5,546
	1日平均患者数(人)	1,751	1,783	32	882	874	8	137	113	24
	紹介率(%)	33.7	31.8	1.9	28.1	27.0	1.1	78.1	74.6	3.5
	逆紹介率(%)	49.3	43.5	5.8	73.2	78.1	4.9	89.4	60.3	29.1
	院外処方せん発行率(%)	90.4	20.5	69.9	2.3	2.4	0.1	0.2	0.1	0.1
救急	救急患者数(人)	12,042	11,814	228	5,029	4,977	52	1,613	1,299	314
	うち直入院患者数(人)	2,283	2,112	171	817	823	6	1,084	906	178
がん検診	一次検診者数(人)	36,846	35,955	891						
	1日平均(人)	150	147	4						
	二次検診者数(人)	25,919	25,740	179						
	1日平均(人)	106	105	1						
介護老人保健	入所者数(人)							21,923	18,291	3,632
	1日平均(人)							60	50	10
	通所者数(人)							2,091	2,151	60
	1日平均(人)							9	9	0

3 患者1人1日あたりの診療収入

(単位：円)

	市民病院			港湾病院			脳血管医療センター		
	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減
入院	37,210	37,605	395	34,973	35,064	91	29,076	29,091	15
基本診療料	18,230	18,199	31	17,002	17,053	51	15,601	15,732	131
投薬・注射料	4,600	5,034	434	4,314	3,858	456	2,127	1,665	462
処置・手術料	8,872	8,752	120	8,697	9,125	428	1,371	1,491	120
検査料	2,755	2,663	92	2,328	2,338	10	1,300	1,199	101
画像診断料	1,432	1,521	89	1,098	1,100	2	1,730	1,726	4
その他	1,321	1,436	115	1,534	1,590	56	6,947	7,278	331
外来	7,378	9,973	2,595	8,780	8,513	267	9,429	8,448	981
基本診療料	781	761	20	968	975	7	873	839	34
投薬・注射料	1,093	4,135	3,042	4,188	3,928	260	4,045	3,123	922
処置・手術料	292	270	22	327	355	28	94	125	31
検査料	2,072	1,960	112	1,703	1,704	1	1,183	1,074	109
画像診断料	1,200	1,209	9	1,084	1,050	34	1,927	2,005	78
その他	1,940	1,638	302	510	501	9	1,307	1,282	25

4 業務実績

(単位：件)

	市民病院			港湾病院			脳血管医療センター		
	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減	平成13年度	平成12年度	増減
手術件数	4,096	3,952	144	2,501	2,554	53	96	81	15
分娩件数	697	752	55	238	266	28			
検査件数	2,387,768	2,610,968	223,200	1,455,960	1,503,909	47,949	125,250	104,334	20,916
放射線件数	176,582	172,889	3,693	467,632	392,688	74,944	6,258	5,629	629
調剤件数	734,663	741,410	6,747	420,605	433,280	12,675	150,965	121,181	29,784
解剖件数	23	42	19	31	28	3	6	11	5
M R I	2,438	2,924	486	2,541	2,559	18	3,999	3,484	515
C T	6,682	6,958	276	4,606	4,001	605	3,762	3,141	621
血管撮影装置	865	790	75	235	270	35	203	227	24
リニアック	3,620	6,022	2,402						
P E T							463	382	81

市立病院の経常収支の推移

(単位：百万円)

		10年度	11年度	12年度	13年度 (決算)	14年度 (予算)
市民病院	収益的収入	15,140	15,229	15,099	13,888	14,441
	収益的支出	15,895	15,842	15,856	14,725	15,679
	経常収支	755	613	757	837	1,238
	経常収支比率	95.3%	96.1%	95.2%	94.3%	92.1%
	繰入金	2,444	2,449	2,464	2,558	2,595
	実質収支比率	79.9%	80.7%	79.7%	76.9%	75.6%
港湾病院	収益的収入	5,787	5,973	5,877	5,954	6,573
	収益的支出	6,171	6,352	6,361	6,826	7,281
	経常収支	384	379	484	872	708
	経常収支比率	93.8%	94.0%	92.4%	87.2%	90.3%
	繰入金	852	860	856	886	911
	実質収支比率	80.0%	80.5%	78.9%	74.2%	77.8%
脳血管医療センター	収益的収入	26	2,885	4,183	5,194	5,950
	収益的支出	96	4,397	7,276	7,703	8,379
	経常収支	70	1,512	3,093	2,509	2,429
	経常収支比率	27.1%	65.6%	57.5%	67.4%	71.0%
	繰入金	19	1,689	1,290	1,749	1,852
	実質収支比率	7.3%	27.2%	39.8%	44.7%	48.9%

実質収支比率は、繰入金を除いた収支比率。
脳血管医療センターは平成11年8月開院。



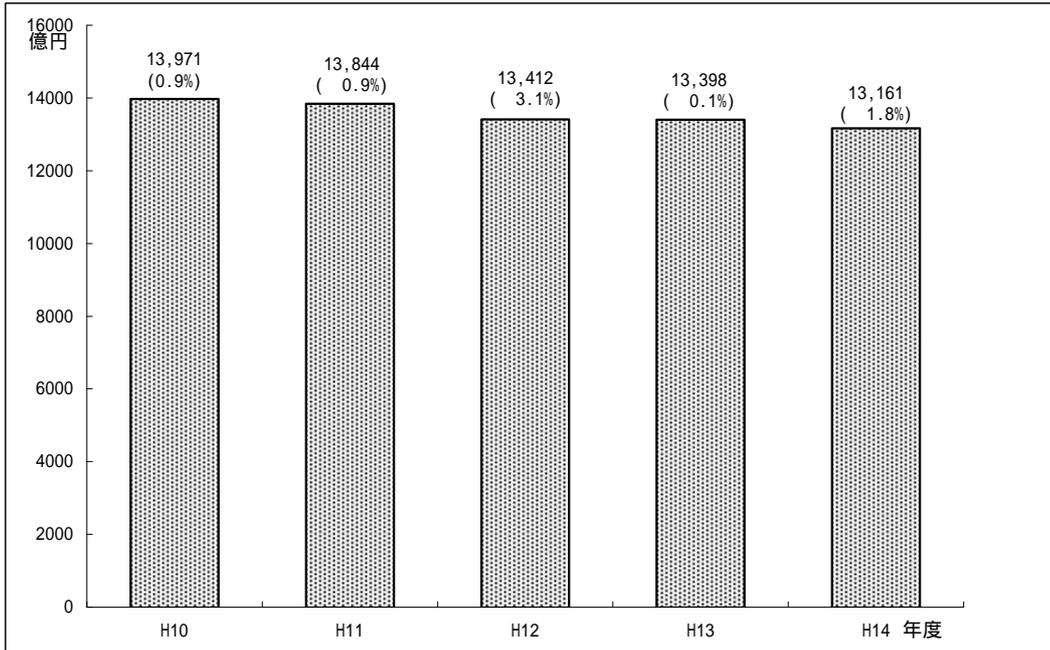
市立病院のこれまでの経営改善の取組

年 度	市 民 病 院	港 湾 病 院	脳血管医療センター	
8 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・直営洗濯業務の委託化 ・卵巣がん検診の実施 ・病床管理システムの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食調理業務の委託化拡大 ・病棟薬剤管理指導業務の開始 	/	
9 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・初診時の非紹介患者に対する特定療養費の徴収 ・地域医療連携室と医療相談室の統合 ・注射薬患者個別セット渡しの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・初診時の非紹介患者に対する特定療養費の徴収 ・形成外科の実施 ・入院処置伝票等の改善 		
10年度	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃委託仕様の見直しによる委託料の削減 ・滅菌業務の院外処理の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療材料管理システムの導入 ・稼働手術室の増（4室から5室）等による患者数の増 		
11年度	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期入院加算の取得 (紹介率30%以上, 平均滞在日数20日以内) ・院内保育所の委託化 ・光熱水費の節減 	<ul style="list-style-type: none"> ・病床管理の一元化 ・院内保育所の委託化 ・救急医療体制の拡充 		
12年度	<ul style="list-style-type: none"> ・特別室使用料の改定 ・給食調理業務の全面委託化 ・診療材料管理システムの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別室使用料の改定 ・看護職員民間借り上げ宿舍の整理による経費削減 		<ul style="list-style-type: none"> ・病床利用率の向上
13年度	<ul style="list-style-type: none"> ・院外処方せん全面实施 ・委託業務契約の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院診療計画実施の拡大 ・診療材料の採用品目の整理 		<ul style="list-style-type: none"> ・病床利用率の向上 ・コジェネレーション設備の効率的な運転による光熱水費の節減

横浜市の財政状況

資料 1 1

一般会計予算規模の推移



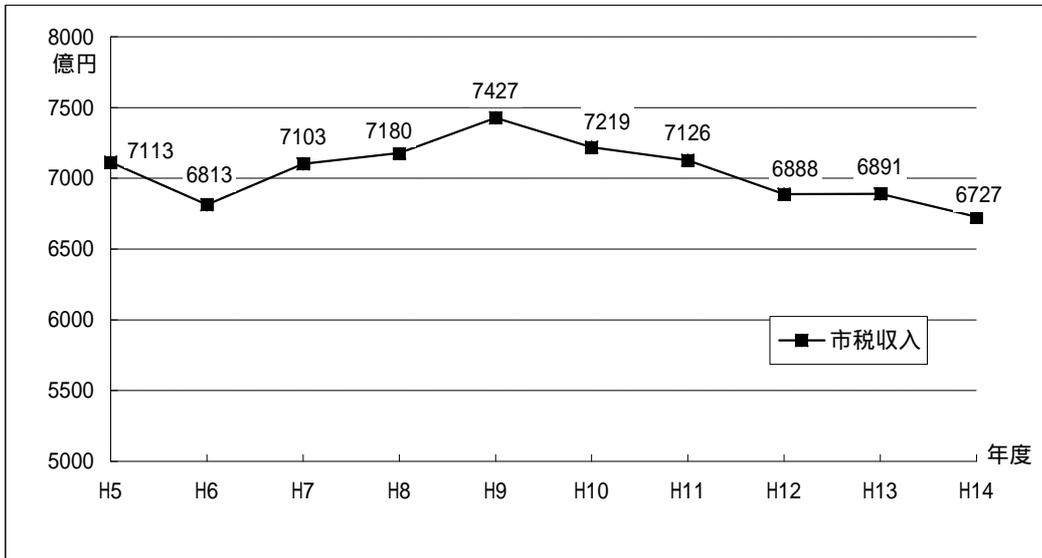
単位：億円，%

一般会計	単位：億円，%					
	金額	H10	H11	H12	H13	H14
	金額	13,971	13,844	13,412	13,398	13,161
	伸び率	0.9	0.9	3.1	0.1	1.8

()内は伸び率を示します。

数値は当初予算，ただし10年度は6月補正後，14年度は5月補正後の予算です。

市税収入と伸び率の推移



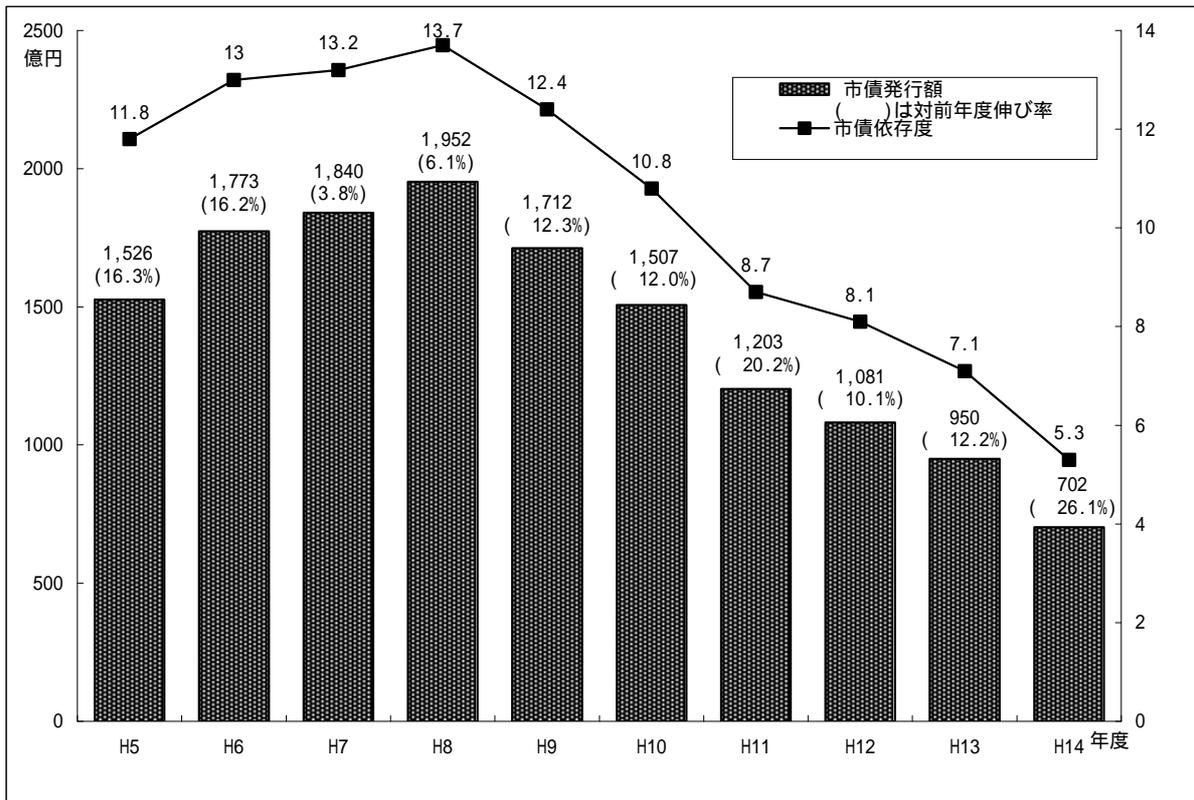
単位：億円，%

市税収入	単位：億円，%					
	金額	H5	H6	H7	H8	H9
	金額	7,113	6,813	7,103	7,180	7,427
	伸び率	1.4	4.2	4.3	1.1	3.4

H10	H11	H12	H13	H14
7,219	7,126	6,888	6,891	6,727
2.8	1.3	3.3	0.0	2.4

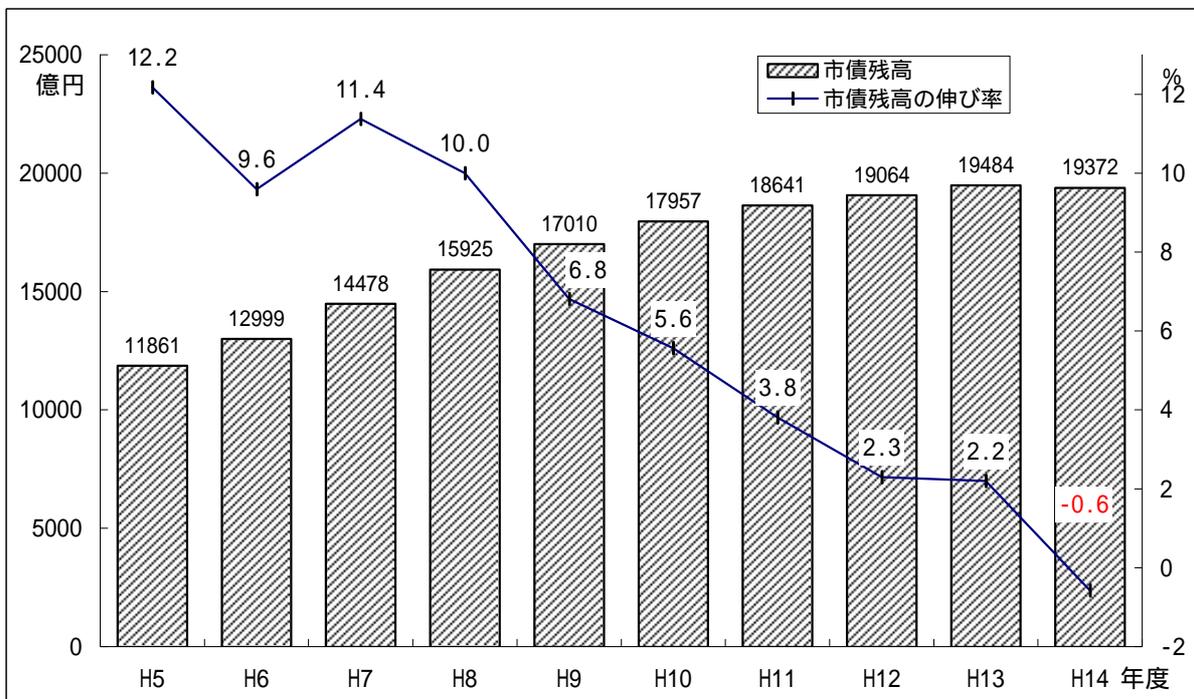
5年度から12年度までは決算，13年度は決算見込，14年度は実収見込です。

一般会計市債計上額と市債依存度の推移



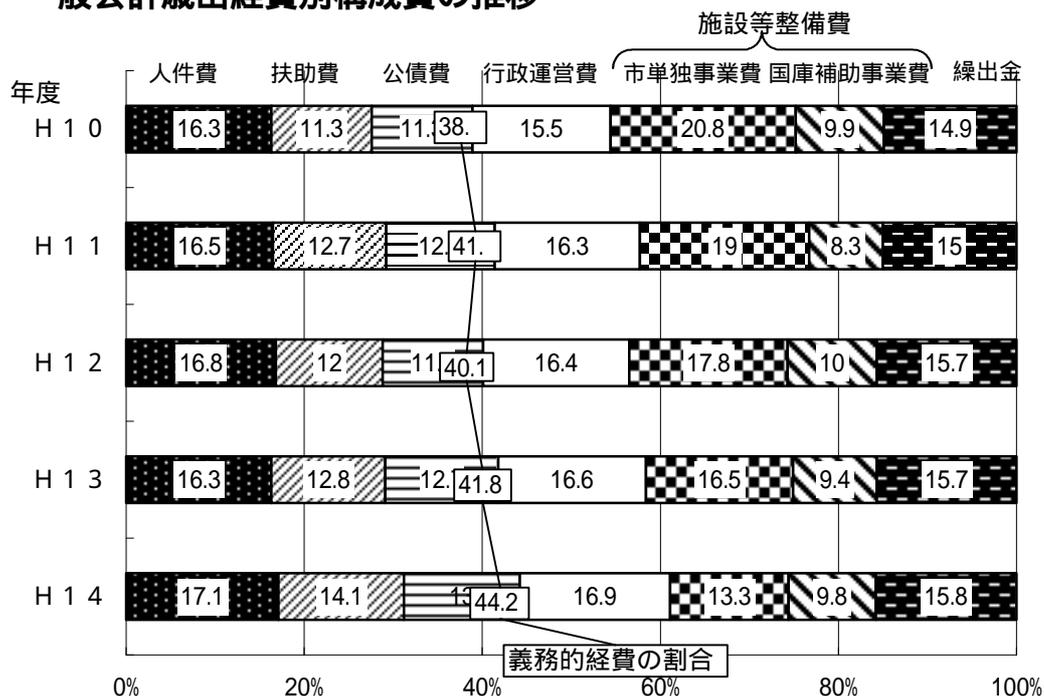
市債計上額は一般会計当初予算，ただし6年度及び10年度は6月補正後，14年度は5月補正後の予算です。

一般会計市債残高と伸び率の推移



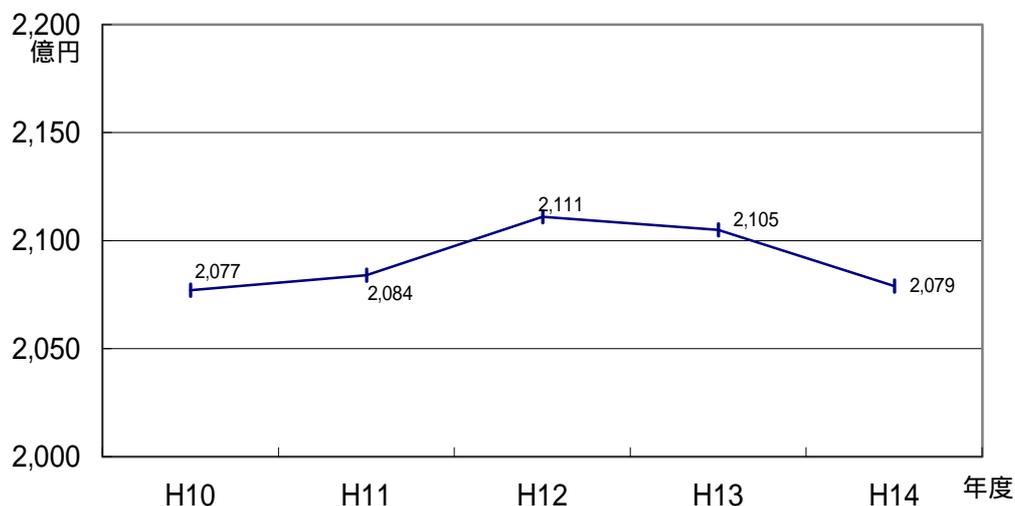
市債残高は5年度から12年度までは決算，13年度は2月補正後，14年度は5月補正後の予算数値です。

一般会計歳出経費別構成費の推移



注：数値は当初予算，ただし10年度は6月補正後，14年度は5月補正後の

一般会計歳出における繰出金の推移



単位：億円

		H10	H11	H12	H13	H14
繰出金	金額	2,077	2,084	2,111	2,105	2,079
	構成比	14.9	15.0	15.7	15.7	15.8

用 語 集

資 料 名	用 語	用 語 の 説 明
	市立病院	今回の委員会においては、衛生局所管の企業会計3病院をいう。市民病院（624床）、港湾病院（300床）、脳血管医療センター（300床）他に衛生局所管一般会計病院としてアレルギーセンター（144床）があ
	市立大学病院	市立大学医学部附属病院（623床）、市立大学医学部附属市民総合医療センター（市大センター病院）（720床）をいう。
	地域中核病院	横浜市では、市民が適切な治療を受けられる体制を整えるため、市内6方面に整備することとしており、二次機能の医療水準、500床以上の病床規模、365日24時間応需する救急医療等の機能を持つ病院をいう。 恩賜財団済生会横浜市南部病院（500床） 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院（518床） 横浜市北東部中核病院 横浜労災病院（650床） 昭和大学横浜市北部病院（653床） 東部地域中核病院（500床規模）については計画中
資料 1	医療施設	病院，診療所，老人保健施設，その他の医療を提供できる施設をいう。このうち病院とは，病床数が20床以上の収容施設を有するもので，診療所とは，病床数が19床以下の施設で無床のものを含む。
	一般病床	精神病床，感染症病床，結核病床以外の病床をいう。
	(二次)保健医療圏	一般の医療需要に対応するために設定された区域をいい，設定に当たり地理的条件，社会的条件等を考慮の上，病院における入院医療を一体の区域として提供することが相当と認められる区域をいう。
資料 4	平均在院日数	在院日数とは患者が入院してから退院するまでの期間で，全入院患者の在院日数の平均値のことをいう。
	病床利用率	病床が平均的にどのくらい利用されているかを，病床数に対する在院患者数の割合で算出したものをいう。
	感染症指定医療機関	1999年施行の感染症新法に基づき，指定された医療機関をいう。感染症指定医療機関における医療は，患者に対する治療と感染症の蔓延の防止を目的としており，市民病院は第二種感染症指定医療機関に指定されている。
	災害医療拠点病院	1996年に施行された「災害拠点病院整備事業実施要項」に基づき，原則として二次医療圏に1か所設置され，被災地からの重症患者の受入機能のほか，医療救護班の派遣機能などを持つものをいう。
	臨床研修病院	医師は免許取得後2年以上臨床研修を行うよう努めることとなっており，臨床研修を行う病院として申請し，指定された病院をいう。
	救命救急センター	心筋梗塞・脳卒中・頭部損傷などの重篤な救急患者に対応できる高度な医療機能と，24時間受入体制を持つ三次救急医療施設で厚生労働大臣の承認を得て知事が指定した施設をいう。
	周産期センター	出産前後の妊産婦(胎児を含む)の管理，新生児未熟児の管理，ハイリスク母児の退院後の継続管理を連続的に実践する施設をいう。
	緩和ケア	今日の医学で治る見込みがない末期患者に対して，人生最後の時をなるべく心身の苦痛や不安を少なくし，人間らしく意義深く送れるよう援助するケアをいう。

資料名	用語	用語の説明
資料5	ICU (集中治療室)	重篤な救急患者，重症疾患，および大手術後の患者など，生命の危機に瀕している患者を収容し，循環・呼吸・代謝などの全身管理を主とした集中治療を専門的に行う病室をいう。
	CCU (冠状動脈疾患集中治療室)	心筋梗塞や重症狭心症といった冠状動脈疾患患者の治療を集中的に行う専用の病室をいう。
	NICU (新生児集中治療室)	超低出生体重児，極超低出生体重児などのハイリスク新生児や低出生体重児を保育器の中に保護し，24時間体制で呼吸・心拍・血圧・酸素濃度等を監視し，持続的な輸液・検査・治療を集中的に行うことができる病室をいう。
	免震構造	建物の基礎部分などに，ゴムなどを使って地震の揺れを建物に直接伝えない構造をいう。
資料8	医業収支	医療サービスの提供によって得られる収益である「医業収益」から，医療収益を得るために使用した労務費，医薬材料費及び経費などの「医業費用」を差し引いた金額をいう。
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常収益}} \times 100$ 100を超えると黒字経営となる。
	収益的収入	当該年度の企業の経営活動に伴い発生が予定される全ての収益をいう。サービスの提供の対価としての料金収入を主とする「営業収益」，受取利息，他会計補助金等の「営業外収益」，固定資産売却益等の「特別利益」からなる。
	資本的収入	企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金等の財源となる収入をいう。資本的収入には，「企業債」「固定資産売却代金（売却益は除く。）」「他会計からの出資金」等で現金収入が予定されるものが計上される。
資料9	経常収支	「医業収支」に例えば駐車場や売店の売り上げなどの「医業外収益」を加え，それらの運営のための費用中，借入金の支払利息などの「医業外費用」を引いた金額をいう。
	現金収支	経常収支から，減価償却費等のように期間内に現金移動がないがその期間の収益に対応させることが必要な費用を除いた収支をいう。
	繰入金	一般会計と特別会計・公営企業会計同士でお金をやりとりする事がある。このことを「一般会計から特別会計へ繰り出す」と表現する。出す方が「繰出金」で，入る方が「繰入金」という。
	減価償却費	建物など長期間にわたって使用され価値が減少していく固定資産を，一定の計算基準に基づいて，計上した費用をいう。実際の現金支出は伴わず，企業内に留保されて建物建替のための資金等となる。
	繰延勘定償却	効果がその後数年間にわたるようなもの，又は臨時かつ巨額でその年度だけで負担できないようなものを繰延勘定とすることができ，5事業年度以内に毎年度均等額以上を償却することをいう。
	控除対象外消費税	課税売上げ，非課税売上げに共通する課税仕入れがある場合で，実際の納税計算にあたって控除できなかった課税仕入れに係る仮払消費税を繰延勘定で経理することをいう。
	自主料金	室料差額，分べん介助料，診断書等の文書料，他の保険医療機関等からの文書による紹介によらずに初診を受ける場合の初診料加算料をいう。
	PET(ペット)	陽電子断層撮影装置。陽電子を放出する核種を用いた薬品を人体に投与し，これを断層撮影画像として捉えて診断を行う装置をいう。

資 料 名	用 語	用 語 の 説 明
資料 9	初診時特定診療費	他の医療機関からの紹介状なしに200床以上の病院を受診した場合、保険から支払われる紹介料に代わるものとして、初診時に保険診療による自己負担金とは別に実費負担するものをいう。
	コージェネレーション	ひとつのエネルギーから複数のエネルギーを取り出すシステムのことをいう。燃料をもやし、電気と冷暖房用の熱を取り出すなど、エネルギー効率と環境負荷の点ですぐれている。
	急性期入院加算	入院基本料加算のひとつ。一般病棟の平均在院日数20日以内(平成14年10月から17日以内)、紹介率30%以上、医療安全管理体制、詳細な入院診療計画の作成、診療録管理体制を要件として診療報酬に一定の加算がされることをいう。
資料 1 1	一般会計	市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など自治体としての基本的・一般的なサービスを行う会計をいう。これに対して保険料など特定の収入があり、一般会計と分けて経理する事で収支をはっきりさせた会計である特別会計や、地下鉄、バス、水道、病院など、民間企業と同じように、事業で収益を上げて、それてまかなわれる会計である公営企業会計がある。
	市税収入	市民税、固定資産税及び都市計画税などの税収入をいう。
	市債	市が必要な財源を調達するために負う債務(借金)で、その履行が一会計年度を超えて行われるものであり、証書借入、証券発行の形式をとる。
	市債依存度	歳入に占める市債収入額の割合のことをいう。一般に市債依存度が高いほど地方公共団体の財政基盤は弱いと考えられる。
	扶助費	生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費をいう。地方自治体独自に行っている扶助も含まれる。
	公債費	地方債の元金の返済、利子の支払いに要する経費のことをいう。
	繰出金	一般会計と特別会計・公営企業会計同士でお金をやりとりする事がある。このことを「一般会計から特別会計へ繰り出す」と表現する。出す方が「繰出金」で、入る方が「繰入金」という。